

ごあいさつ

3月11日に発生しました東日本大震災に被災された多くの皆様につきまして、心からお見舞い申し上げます。

県内の企業も操業停止や部品調達の遅れ等の影響を受けました。さらに原子力発電所の事故で放射性物質が飛散し、放射線の風評被害が工業製品へも波及しており、放射線に関する正しい知識の理解・周知徹底が急務となっています。埼玉県産業技術総合センターでは、被災された地域や県内で製造された工業製品への放射線測定を5月16日から行い、復興支援に微力ながら努めております。

埼玉県産業技術総合センターは、川口市内 SKIP シティの本所と熊谷市内の北部研究所の2拠点体制で、研究開発や技術支援などの産業振興施策事業を展開してまいりました。

平成22年度に自動車メーカー様の御協力を頂き、「次世代ものづくりアカデミー事業」を実施しました。県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、ハイブリッド車から分解した各種部品の展示をはじめ、ハイブリッド車関連技術の講演会、研究会を開催し、好評を得ました。この業務は、平成23年6月に財団法人埼玉県産業振興公社内に設置された「次世代自動車支援センター埼玉」に引き継がれております。今後は連携して事業を推進して参ります。

技術支援では、最新機器を積極的に導入し、技術開発や製品開発の支援を行っています。平成22年度は、技術相談件数14,668件、依頼試験件数20,976件、機器開放件数3,827件、機器開放利用時間34,083時間となっており、数多くの御利用を頂きました。引き続き企業ニーズ・地域ニーズに対応できるよう努めていきます。

本業務報告は、平成22年度埼玉県産業技術総合センターの業務実績を取りまとめたものでございます。御参考にして頂ければ幸いです。

平成23年9月

埼玉県産業技術総合センター
センター長 牟田口 照恭

平成22年度業務報告目次

ごあいさつ	i
1 埼玉県産業技術総合センター概要	1
1.1 沿革	1
1.2 組織と事務分掌	2
1.3 職員	3
1.4 所在地、土地建物	4
1.5 会計	5
1.6 貸会議室等	6
1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等	6
1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数	6
1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数	6
1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数	6
1.7 試験研究設備の整備状況	7
2 技術支援	8
2.1 技術相談・技術指導	8
2.1.1 職員による技術相談・技術指導	8
2.1.2 技術アドバイザー指導事業	10
2.1.3 技術指導フォローアップ事業	11
2.2 依頼試験	12
2.2.1 依頼試験	12
2.2.2 試験所の登録	13
2.3 機器開放	13
2.3.1 機器開放	13
2.3.2 機器操作技術認定研修	14
2.4 技術普及業務	14
2.4.1 研究成果の技術移転	14
2.4.2 SAITEC 研究発表会	15
2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)	15
2.5 次世代ものづくりアカデミー事業	16
2.5.1 ハイブリッド車の分解部品の展示内覧会	16
2.5.2 講演会	16
2.5.3 研究会	16
2.5.4 常設展示(インサイト、プリウス分解部品)	16
2.6 技術講習会、講演会の開催	17
2.7 培養酵母の頒布	21
3 研究開発	22
3.1 研究開発	22
3.1.1 政策的研究課題	22
3.1.2 受託研究	23
3.2 研究開発の実用化・商品化	23
3.3 客員研究員	23
3.4 研究成果の公表	24
3.4.1 センター主催の発表	24
3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)	26
3.5 研究課題の評価	28
3.5.1 事前評価	28

3.5.2	事後評価	28
4	研究開発支援.....	29
4.1	産学官連携の推進	29
4.1.1	産学官連携推進について	29
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	29
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	29
4.1.4	SAITEC 技術セミナー	30
4.2	助成制度への取り組み	31
4.2.1	研究開発型企業支援事業	31
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究採択実績	31
4.3	環境対応ビジネス振興事業	32
4.4	特許の取得推進とその活用	33
4.4.1	産業財産権の一覧	33
4.4.2	実施許諾	35
4.4.3	センター特許技術の紹介展示	35
5	交流.....	36
5.1	異業種交流支援事業	36
5.1.1	産学官交流プラザ	36
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼玉北ネット)	36
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ	38
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	38
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	39
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】	40
5.4	講演会等講師派遣	43
5.5	審査会等への派遣	44
5.6	技術評価	45
5.7	会議等への参加	46
6	情報提供.....	50
6.1	研究報告	50
6.2	利用促進	50
6.2.1	業務報告	50
6.2.2	技術情報誌の発行	50
6.2.3	その他の印刷物の発行	50
6.2.4	インターネットによる技術情報の提供	50
6.2.5	記者発表	50
6.2.6	マスメディア報道	51
6.2.7	SAITEC 出前技術講座	52
6.2.8	見学者	52
6.2.9	県内企業への企業訪問 PR	52
7	起業化支援.....	53
7.1	入居企業	53
7.2	支援実績	53
8	人材育成.....	54
8.1	研修生の受け入れ	54
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	54
8.1.2	インターンシップ事業	55
8.1.3	平成 22 年度醸造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	56
8.1.4	県立高等技術専門校との連携研修	56
8.2	技術競技会	57

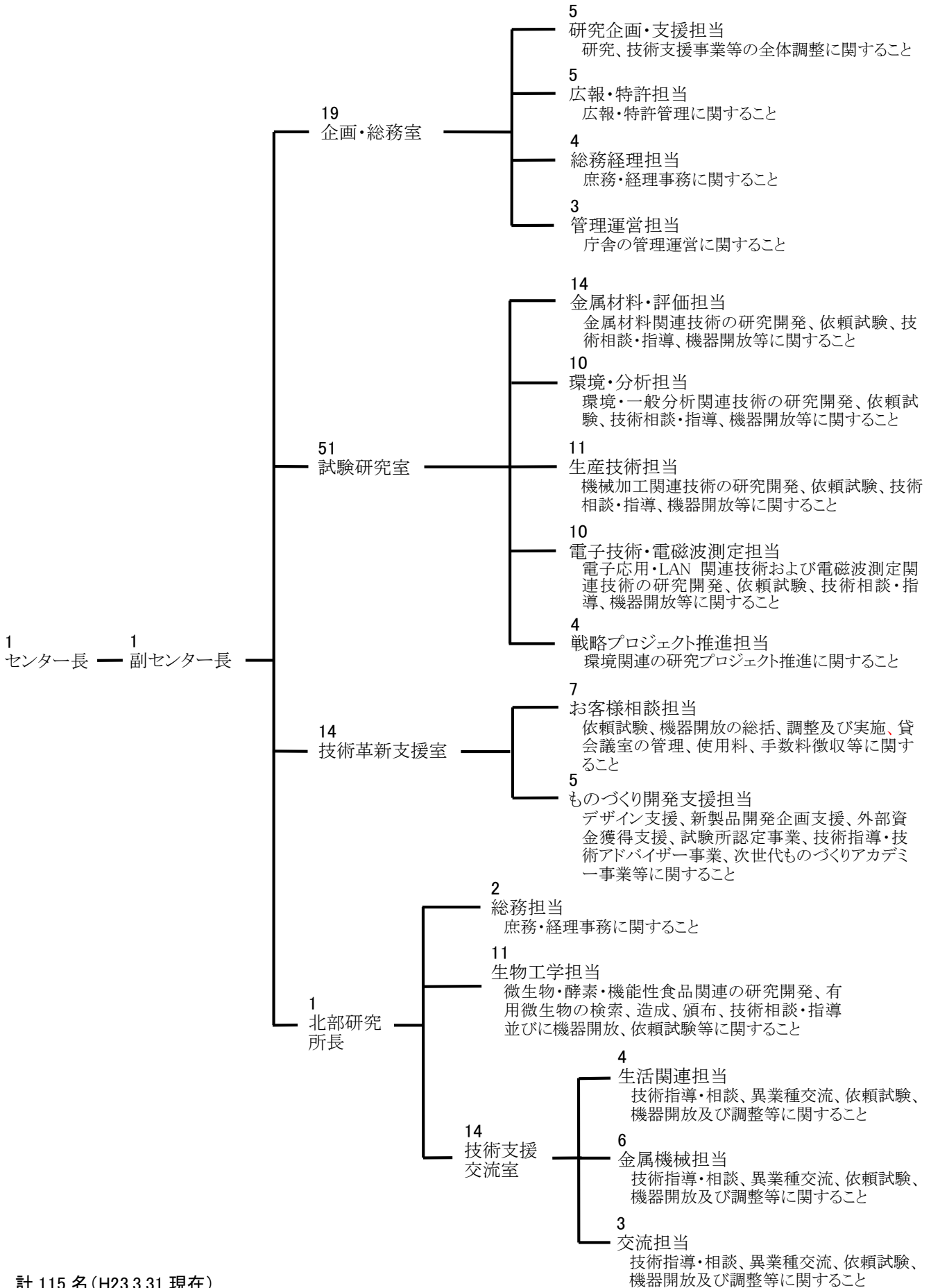
8.2.1	第46回埼玉県鑄造技術コンクール	57
8.2.2	平成22年度(第53回)めっき技術競技会	58
8.2.3	平成22酒造年度春季清酒鑑評会	58
8.3	未来の科学者養成研修事業	59
8.3.1	夏休み体験教室	59
8.4	ものづくり開発支援研修	60
8.5	科学技術体験学習の実施	61
8.5.1	スーパーサイエンスハイスクール事業	61
8.5.2	サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト	61
9	その他の事業	62
9.1	職員研修	62
9.2	顧客満足度(CS)アンケート	64
9.3	運営委員会の開催	64
9.3.1	開催状況	64
9.3.2	運営委員	65

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現(独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



1.3 職員

センター長 (非常勤) (技)	荒木 純一
副センター長 (事)	小谷野 雅明

本所

企画・総務室		室長 (事)	小ノ澤 克彦
副室長 (技)	小林 孝司		
研究企画・支援担当		担当部長 (技)	高橋 利男
担当部長 (技)	細野 光広	主任 (技)	田中 英次
主任 (技)	鈴木 浩之	技師	清野 弘孝
広報・特許担当		担当部長 (事)	木下 俊夫
担当課長 (事)	高杉 健五	専門研究員 (技)	原田 勝利
専門研究員 (技)	小口 正浩	技師	伊藤 幸希
総務経理担当		担当部長 (事)	遠藤 治
主任 (事)	朝枝 由美	主任 (事)	井上 香
主任 (事)	荻原 弘之		
管理運営担当		担当課長 (事)	長島 立人
主任 (事)	三田 和明	主任 (事)	須永 政男
試験研究室		室長 (技)	石橋 健司
金属材料・評価・環境・分析担当		副室長 (技)	北村 英三
金属材料・評価担当		担当部長 (技)	大川 薫
担当部長 (技)	高橋 誠一郎	担当部長 (技)	笹川 俊夫
担当部長 (技)	澁谷 康彦	担当部長 (技)	永野 正明
主任研究員 (技)	永井 寛	専門研究員 (技)	篠崎 誠
専門研究員 (技)	進藤 久宜	専門研究員 (技)	清水 宏一
主任 (技)	木村 晋利	主任 (技)	井上 裕之
主任 (技)	秋山 稔	主任 (技)	菊池 和尚
技師	原田 雅典		
環境・分析担当		担当部長 (技)	赤澤 力
専門研究員 (技)	鈴木 昌資	専門研究員 (技)	唐牛 聖文
専門研究員 (技)	奥野 慎	専門研究員 (技)	熊谷 知哉
主任 (技)	佐野 勝	主任 (技)	灘野 朋美
主任 (技)	坂本 大輔	主任 (技)	斎田 吉裕
主任 (技)	地形 祐司		
生産技術・電子技術・電磁波測定・戦略プロジェクト推進担当		副室長 (技)	新井 尚機
生産技術担当		担当部長 (技)	増田 伸二
担当部長 (技)	関根 正裕	専門研究員 (技)	出口 貴久
専門研究員 (技)	小熊 広之	専門研究員 (技)	宇野 彰一
主任 (技)	南部 洋平	主任 (技)	島崎 景正
主任 (技)	山田 岳大	技師	落合 一裕
技師	信本 康男	技師	蓮 俊介
電子技術・電磁波測定担当		担当部長 (技)	戸枝 保
担当部長 (技)	安藤 昌弘	専門研究員 (技)	荻野 重人
専門研究員 (技)	内藤 丈資	主任 (技)	能戸 崇行
主任 (技)	新里 浩司	主任 (技)	本多 春樹
主任 (技)	関口 克巳	技師	宗形 隆史
技師	矢部 友哉		
戦略プロジェクト推進担当		主任 (技)	栗原 英紀
主任 (技)	石田 聡	主任 (技)	半田 隆志
技師	稲本 将史		

技術革新支援室		室 長 (技)	棚 橋 綱 男
副 室 長 (技)	白 山 琢 持		
お客様相談担当		担 当 部 長 (事)	坂 井 義 彦
担 当 部 長 (技)	麻 生 信 之	専 門 研 究 員 (技)	矢 澤 貞 春
専 門 研 究 員 (技)	山 川 徹 郎	主 任 (事)	瓜 生 田 純
主 任 (事)	木 部 繭 子	専 門 員 (事)	高 橋 和 人
ものづくり開発支援担当		担 当 部 長 (技)	影 山 和 則
担 当 部 長 (技)	巻 島 秀 男	担 当 部 長 (技)	町 田 芳 明
主 任 (技)	白 石 知 久	技 師	増 子 陽 一

北部研究所

所 長 (技)	齊 藤 弘 美		
総務担当		担 当 部 長 (事)	清 水 茂 春
主 任 (事)	樋 口 淑 子		
生物学担当		担 当 部 長 (技)	村 田 一 英
担 当 部 長 (技)	増 田 こ ず え	主 任 研 究 員 (技)	小 島 登 貴 子
専 門 研 究 員 (技)	横 堀 正 敏	専 門 研 究 員 (技)	細 井 永 次
主 任 (技)	仲 島 日 出 男	主 任 (技)	常 見 崇 史
主 任 (技)	樋 口 誠 一	主 任 (技)	富 永 達 矢
技 師	海 野 ま り え	技 師	南 澤 賢
技術支援交流室		室 長 (技)	斎 藤 正 樹
生活関連担当		担 当 部 長 (技)	高 柳 博 通
担 当 部 長 (技)	竹 内 了	担 当 部 長 (技)	高 橋 広 子
主 任 研 究 員 (技)	清 水 英 明		
機械金属担当		担 当 部 長 (技)	小 林 茂
担 当 部 長 (技)	簀 輪 幸 三	主 任 研 究 員 (技)	山 口 葉 子
専 門 研 究 員 (技)	大 木 健 司	主 任 (技)	鈴 木 理 博
技 師	飯 塚 真 也		
交流担当		担 当 部 長 (技)	持 田 紀 久 雄
技 師	堀 口 将 弘	技 師	岩 崎 正 太

(H23.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

- ◆ 埼玉県産業技術総合センター
 - 所在地 川口市上青木三丁目12番18号
 - 土地 18,352.58 平方メートル
 - 建物
 - 埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル
 - 埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル
 - 川口市立科学館 3,784.61 平方メートル
 - 合 計 35,492.54 平方メートル
 - 構 造 地上9階/地下1階

- ◆ 北部研究所
 - 所在地 熊谷市末広二丁目133番地
 - 土地 5,923.30 平方メートル
 - 建物
 - 本 館 1,687.92 平方メートル
 - 試験棟 494.27 平方メートル
 - 新 館 602.84 平方メートル
 - 試験棟 312.86 平方メートル
 - その他 73.60 平方メートル
 - 合 計 3,171.49 平方メートル

1.5 会計

歳入

(単位:円)

科目	本所	北部	合計
使用料及び手数料	196,155,784	17,536,290	213,692,074
使用料	138,463,614	3,671,940	142,135,554
行政財産使用料	42,869,779	557,640	43,427,419
商工業使用料	95,593,835	3,114,300	98,708,135
手数料	57,692,170	13,864,350	71,556,520
商工業手数料	57,692,170	13,864,350	71,556,520
財産収入	17,173,614	598,500	17,772,114
財産運用収入	17,149,863	0	17,149,863
財産貸付収入	17,149,863	0	17,149,863
財産売払収入	23,751	598,500	622,251
物品売払収入	23,751	0	23,751
生産物売払収入	0	598,500	598,500
諸収入	16,418,370	32,100,800	48,519,170
受託事業収入	11,745,520	3,789,800	15,535,320
商工受託事業収入	11,745,520	3,789,800	15,535,320
雑入	4,672,850	28,311,000	32,983,850
雑入	4,672,850	28,311,000	32,983,850
合計	229,747,768	50,235,590	279,983,358

歳出

(単位:円)

科目	本所	北部	合計
総務費	38,539,404	1,371,449	39,910,853
総務管理費	91,936	1,371,449	1,463,385
一般管理費	20,000	45,000	65,000
人事管理費	71,936	48,190	120,126
財産管理費	0	1,278,259	1,278,259
環境県民費	38,447,468	0	38,447,468
消費者対策費	38,447,468	0	38,447,468
商工費	433,792,821	107,390,910	541,183,731
商工業費	433,792,821	107,390,910	541,183,731
商工総務費	1,051,958	159,535	1,211,493
商工振興費	24,781,912	935,328	25,717,240
産業技術総合センター費	407,958,951	106,296,047	514,254,998
合計	472,332,225	108,762,359	581,094,584

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,180	8,240	6,180	2,060
1	多目的ホール2	273.92	170	8,480	11,300	8,480	2,820
3	3A会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
3	3B会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
4	4A会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4B会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4C会議室	70.92	33	2,190	2,920	2,190	730

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	131	137	88	356	32,920	33,250	7,483	73,653
多目的ホール2	111	114	69	294	38,140	38,320	9,765	86,225
3A会議室	101	120	80	301	2,127	2,407	2,010	6,544
3B会議室	115	138	71	324	2,440	2,881	1,983	7,304
4A会議室	126	145	83	354	2,929	3,278	2,099	8,306
4B会議室	114	132	72	318	2,677	3,023	1,863	7,563
4C会議室	67	88	34	189	1,636	2,139	854	4,629
合 計	765	874	497	2,136	82,869	85,298	26,057	194,224

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	316	66	383	61	204	124	693	289	2,136
百分比(%)	14.8	3.1	17.9	2.9	9.6	5.8	32.4	13.5	100

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	732	466	42	15	80	801	2,136
百分比(%)	34.3	21.8	2.0	0.7	3.7	37.5	100

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
複合サイクル試験機 ※	1	スガ試験機(株)／CYP-90	本所
サーバシステム	1	日本電気(株) Express 5800 他	本所
電磁波試験機測定端末	1	Dell／OPTIPREX980	本所
表面粗さ・輪郭形状測定機	1	(株)ミットヨ／フォームトレーサー SV-C4100H8	本所
ダイヤモンドソーマシン	1	バローレ V-19	本所
冷却水循環装置	1	東京理化器械(株) ケールエース CCA-1111 型	本所
小型卓上高速ミキサー	1	プライムクス(株) フィルミックス 40-40 型	本所
エアドライヤー(超低露点)	1	アズワン(株) QD10-75 1-8698-02	本所
露点計	1	アズワン(株)／DM70D5B0A0J1	本所
三次元測定機 ※	1	(株)ミットヨ／Legex776	北部研究所
表面粗さ・輪郭形状測定機 ※	1	(株)東京精密／KF8803ME	北部研究所
画像測定機 ※	1	ニコンインストルメンツカンパニー／ NEXIV VMR-H3030	北部研究所
耐光試験機	1	スガ試験機(株)／U48AU	北部研究所
オートクレーブ	1	三洋電機(株)／MLS-2420	北部研究所
デザイン用カラーレーザープリンタ	1	エプソン／LP-M5000AZ	北部研究所
キャピラリー電気泳動装置	1	大塚電子(株)／CAPI-3300	北部研究所
有機溶媒回収装置	1	日本ビュッヒ(株)／V-703 アドバンスフルセット	北部研究所
マイクロプレート自動洗浄装置	1	バイオテック(株)／AMW-8	北部研究所
12連マイクロピペット 一式	1	ギルソン(株)／F21041、F21043	北部研究所
ペルチェ式冷却ブロックバス	1	アズワン(株)／EC-40R	北部研究所

※ 財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また、次世代ものづくりアカデミー事業として、ハイブリッド車の分解部品の展示等を行った。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	524
	特殊加工に関すること	82
	設計に関すること	29
	精密測定に関すること	1,364
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	127
	非鉄鋳物に関すること	37
	鋳型・鋳造方案に関すること	16
	鋳物不良対策に関すること	7
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	106
	腐食、防食に関すること	192
	熱処理に関すること	99
	塗装技術に関すること	3
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	470
	成分分析(非金属)に関すること	923
	材料強度等に関すること	669
	材料の物性、工業規格に関すること	310
	顕微鏡組織観察等に関すること	631
	材料のクレーム対策に関すること	74
	非破壊検査に関すること	71
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	1
	制御技術に関すること	4
	電気、電子技術に関すること	1,137
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	3
	セラミックス技術に関すること	2
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	133
	複合・接着技術に関すること	19
デザイン関連	商品企画に関すること	18
	プロダクトデザインに関すること	441
	グラフィックデザインに関すること	4
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	12
環境技術関連	再資源化に関すること	21
	廃棄物処理に関すること	8
	環境等に関すること	44
	環境浄化技術に関すること	88
	省エネ技術に関すること	6
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	83
	機器操作に関すること	262
	製品開発に関すること	23
	生産技術に関すること	10
	材料・製品試験に関すること	288
	講習会、研修会等に関すること	63
	アドバイザー指導等に関すること	15
	異業種交流に関すること	3
	情報検索に関すること	1
	特許に関すること	4
	制度融資、補助金等に関すること	18
	その他上記以外の事項	2,092
小計 (うち実地指導件数)		10,537 (2,665)

北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	80
	素材分析に関すること	216
	成分分析(金属)に関すること	92
	成分分析(非金属)に関すること	93
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	16
	染色堅ろう度等に関すること	131
	型紙調整等に関すること	5
	デザイン等に関すること	244
食品関連	酒類の製造に関すること	634
	穀類食品の製造に関すること	175
	調味料の製造に関すること	8
	漬物の製造に関すること	24
	その他食品の製造に関すること	69
	食品成分に関すること	55
	食品素材に関すること	63
	微生物・酵素に関すること	351
食品分析に関すること	166	
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	27
	素材の応用技術に関すること	149
設計・生産関連	設計に関すること	9
	精密測定に関すること	73
	生産技術(機械等)に関すること	12
	材料・製品試験(機械等)に関すること	15
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	7
	腐食・防食に関すること	38
	熱処理に関すること	4
	塗装技術に関すること	7
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	295
	材料の物性・工業規格に関すること	210
	顕微鏡組織観察等に関すること	63
	材料のクレーム対策に関すること	7
	非破壊検査に関すること	2
環境技術関連	再資源化に関すること	6
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	35
	機器操作に関すること	62
	コンピュータ等に関すること	9
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	37
	技術アドバイザー指導等に関すること	51
	異業種交流に関すること	30
	法規・規格・表示に関すること	7
	産業情報等の提供に関すること	25
	行政情報等の提供に関すること	50
	その他上記以外の事項	479
小計 (うち実地指導件数)		4,131 (965)

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	10,537(2,665)
北部研究所	4,131(965)
合計	14,668(3,630)

2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

- 特殊ステンレス鋼の熱処理についての有益な助言が得られた。
- チタン合金の板金加工についての有益な助言が得られた。
- 福祉機器のコンピュータ制御について有益な助言が得られた。
- 木材の防腐・防虫対策が図れた。
- 生産管理の基礎、5S運動の知識が得られた。

○ 技術アドバイザー指導件数

本所

産業分野	企業数
印刷・同関連業	1
プラスチック製品製造業	1
金属製品製造業	5
はん用機械器具製造業	3
生産用機械器具製造業	1
電気機械器具製造業	1
環境設備製造業	2
輸送用機械器具製造業	1
化学製品製造業	1
鋳造部品製造業	1
精密機器・光学機器製造業	2
医療機器製造業	2
食品加工業	2
電子部品製造業	1
小計	24

技術指導分野	件数
製品開発	1
品質管理・生産管理・ISO	4
金属加工	1
樹脂加工	1
電気設備全般	3
熱処理技術	1
デザイン	5
化学	1
機械設計	1
技術開発	1
食品加工	4
精密機械	1
小計	24

北部研究所

産業分野	企業数
食料品製造業	1
飲料・たばこ・飼料製造業	1
繊維工業	2
プラスチック製品製造業	2
電気機械器具製造業	1
小計	7

技術指導分野	件数
新商品開発	1
品質管理・生産管理技術・ISO	4
生産技術	2
小計	7

機関名	指導企業数	指導日数
本所	24	126
北部研究所	7	43
合計	31	169

2.1.3 技術指導フォローアップ事業

県内中小企業の技術的課題の解決を図るため、外部の技術専門家を技術指導依頼のあった企業に派遣した。その主な指導内容は、次のとおりである。

- 食品添加物の使用方法、工場の衛生管理
- 塗装機によるエクステリアデザイン
- プラスチック成型金型に関する指導
- 特殊鋼の熱処理指導
- プレス金型の設計指導

○ 技術指導フォローアップ件数

本 所

産 業 分 野	企 業 数
印刷・同関連業	2
プラスチック製品製造業	2
金属製品製造業	5
はん用機械器具製造業	3
生産用機械器具製造業	2
電気機械器具製造業	4
木材・木製品製造業	3
環境設備製造業	1
パルプ・紙製造業	1
精密機器・光学機器製造業	2
化学製品製造業	1
電子部品製造業	2
医療機器製造業	1
食品加工業	1
小 計	30

技術指導分野	件数
製品開発	6
生産管理技術・ISO	5
生産技術	9
熱処理技術	3
材料技術	1
デザイン	3
その他	3
小 計	30

北部研究所

産 業 分 野	企 業 数
食料品製造業	2
繊維工業	3
プラスチック製品製造業	1
電気機械器具製造業	1
非鉄金属製造業	2
サービス業	1
小 計	10

技術指導分野	件数
新商品開発	1
生産管理技術・ISO	4
生産技術	4
デザイン	1
小 計	10

機 関 名	指導企業数	指導日数
本 所	30	30
北部研究所	10	10
合 計	40	40

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

本所で依頼試験件数の多かった項目は、強度試験、機器分析及び精密測定であった。北部研究所では、機器分析、強度試験及び染色堅ろう度試験であった。

本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	175	252,640
	機器分析	3,217	22,869,410
材料試験	強度試験	3,476	4,138,170
	物理試験	102	363,260
	組織試験	1,375	4,952,270
	耐候性試験	207	3,811,780
	表面処理試験	1,827	5,509,070
測定及び検査	精密測定	2,576	5,633,320
	EMC測定	32	329,470
	非破壊検査	93	623,100
調製	試験片調製	930	819,690
その他依頼試験		1,128	8,375,200
立会試験		1	1,270
試験成績書の複本		22	5,720
写真の焼増し又はカラー複写		20	7,800
小 計		15,181	57,692,170

北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	338	310,020
	機器分析	2,480	8,254,740
材料試験	強度試験	688	568,510
	物理試験	382	526,310
	組織試験	73	77,370
	表面処理試験	229	855,890
	染色堅ろう度試験	580	377,710
測定及び検査	精密測定	49	88,750
微生物検査	生菌数の測定	1	1,420
官能試験	温度設定のない試験	475	123,500
調製	試験片調製	11	6,910
その他の依頼試験		487	2,672,700
試験成績書の複本		2	520
小 計		5,795	13,864,350

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	15,181	57,692,170
北部研究所	5,795	13,864,350
合 計	20,976	71,556,520

2.2.2 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼・赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211 附属書 4 [適用範囲 0.040% ≤ C ≤ 4.00%]	平成 20 年 8 月 1 日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245 [適用範囲 20HRC ≤ ロックウェル硬さ ≤ 60HRC]	平成 20 年 8 月 1 日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN ≤ 試験力 ≤ 200 kN]	平成 21 年 7 月 23 日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 ≤ Mn ≤ 2.00 0.01 ≤ Ni ≤ 3.80 0.01 ≤ Cr ≤ 4.50 0.01 ≤ Mo ≤ 1.20 ステンレス鋼 0.10 ≤ Mn ≤ 7.50 0.25 ≤ Ni ≤ 24.0 8.00 ≤ Cr ≤ 22.5 0.02 ≤ Mo ≤ 3.80]	平成 21 年 7 月 23 日

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、本所 119 機器、北部研究所 63 機器、合計 182 機器である(平成 23 年 4 月現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は電波暗室電磁波試験測定装置、次いで電磁波障害対策室電磁波試験測定装置、シールドルーム電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、人工気象室の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は波長分散型蛍光X線分析装置、冷熱衝撃試験機、万能材料試験機(300KN)の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、波長分散型蛍光X線分析装置の順であった。

分類別の利用総額と総利用件数及び総利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	1,988,530	232	1,449	1,681,330	128	307,200
表面観察機器	523,370	365	1,268	472,970	21	50,400
強度試験機器	1,585,120	423	1,570	759,520	344	825,600
精密測定機器	2,666,060	434	1,835	1,206,860	608	1,459,200
測定機器	1,585,910	507	1,956	1,062,710	218	523,200
試料調製機器	298,810	68	1,088	272,410	11	26,400
電気・電子測定機器	28,224,000	1,027	3,976	23,688,000	1,890	4,536,000
評価試験機器	6,808,460	156	12,887	6,806,060	1	2,400
分析機器	2,505,890	328	1,346	2,371,490	56	134,400
小計	46,186,150	3,540	27,375	38,321,350	3,277	7,864,800

北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	16,100	16	33	13,700	1	2,400
表面観察機器	10,340	12	50	7,940	1	2,400
強度試験機器	119,390	49	161	90,590	12	28,800
測定機器	32,480	31	143	20,480	5	12,000
試料調製機器	119,910	17	299	110,310	4	9,600
評価試験機器	2,231,010	52	5,626	2,216,610	6	14,400
分析機器	554,760	110	396	523,560	13	31,200
小計	3,083,990	287	6,708	2,983,190	42	100,800

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	46,186,150	3,540	27,375	38,321,350	3,277	7,864,800
北部研究所	3,083,990	287	6,708	2,983,190	42	100,800
合計	49,270,140	3,827	34,083	41,304,540	3,319	7,965,600

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	168日・303人
研修日数・参加人数(北部)	13日・23人

2.4 技術普及業務

2.4.1 研究成果の技術移転

今までの研究成果を基に、企業への技術相談・指導を通じて技術移転に努めた。
平成22年度に行った技術移転の具体例の内、主なものを以下に挙げる。

本所

- 難削材への微細深穴加工について
- 薄膜硬度テスターの開発について
- モリブデン箔の毒劇物フリー電解エッチング加工について
- 座位姿勢計測器の開発について
- しゅう動部用新材料の開発について
- 光学ガラスの低環境負荷での高効率超精密研磨について
- 射出成形金型の開発について
- 音声情報機能がついた視覚障害者用立体地図について

北部研究所

- 新規清酒酵母による清酒製造について
- 食品製造工程における微生物検出について
- フェルラ酸を利用した保存剤について
- 県内植物資源に由来する機能性ポリフェノールの利用について
- 米粉を利用した製麺について

2.4.2 SAITEC 研究発表会

平成 21 年度のセンターの研究成果の公開と様々な技術を紹介し、県内中小企業への技術移転の促進や連携推進に繋がるよう、平成 22 年度 SAITEC 研究発表会を開催した。

開催日：平成 22 年 7 月 5 日(月)～6 日(火)
会場：埼玉県産業技術総合センター
来場者：472 名
内容：

7 月 5 日(月) 参加者 390 名

- (1) 研究成果発表 15 テーマ(他都県等からの発表 5 テーマを含む)[内容は 3.4.1 項を参照]
- (2) ポスター展示
 - ① SAITEC 平成 21 年度研究成果
 - ② 貸し研究室入居者紹介
- (3) 成果品等の展示
- (4) 特別講演会:テーマ「次世代自動車の技術動向と今後の展望について」
講師 (株)本田技術研究所 新村 光一 氏
- (5) NEDO 委託研究:テーマ「マグネシウム二次電池正極活物質の開発」
講師 埼玉県産業技術総合センター 戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀
- (6) 施設見学会

7 月 6 日(火) 参加者 82 名

- (1) 研究成果発表 13 テーマ(他都県等からの発表 4 テーマを含む)[内容は 3.4.1 項を参照]
- (2) SAITEC 技術セミナー
 - ・テーマ「自動車産業の現状」
講師 埼玉県産業技術総合センター センター長 荒木 純一
 - ・テーマ「地球にやさしいダイカスト用離型剤の開発～画期的な油性型ダイカスト用離型剤の開発による生産性、環境性、経済性向上技術」
講師 (株)青木科学研究所 小松原 博昭 氏
- (3) ポスター展示
SAITEC平成21年度研究成果
- (4) 成果品等の展示
- (5) 施設見学会

2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)

埼玉県産業技術総合センター及び東京都立産業技術研究センターの研究テーマを発表するとともに埼玉県産業技術総合センターの技術相談事例を紹介した。併せて、食品・製造に関する技術講演会を開催した。

開催日：平成 22 年 7 月 14 日(水)
会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所
来場者：79 名
内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示

- (1) 研究成果発表 12 テーマ(他都県等からの発表 1 テーマ)[内容は 3.4.1 項を参照]
- (2) 技術講演:テーマ「食品工場の衛生管理について～HACCP 導入～」
講師 東海大学 海洋学部水産学科 特任教授 小沼 博隆 氏

2.5 次世代ものづくりアカデミー事業

県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、ハイブリッド車から分解した各種部品の展示をはじめ、ハイブリッド車関連技術の講演会、研究会を開催した。

見学者数は、内覧会、常設展示等を合わせて、延べ1,168社、5,229人(企業3,803人、一般1,426人)[企業には公的機関を含む、TATA社の見学も含む]に上がった。講演会は合計6回開催し、延べ1,123名の参加があった。

2.5.1 ハイブリッド車の分解部品の展示内覧会

期	期 間	展示物	参加社数	参加人数
第1期	平成22年4月19日(月) ～7月20日(火)	インサイト	427	1,705
第2期	平成22年9月1日(水) ～9月30日(木)	インサイト及びプリウス	253	825

2.5.2 講演会

年月日	テーマ	講師	参加人数
平成22年7月5日(月)	次世代自動車の技術動向と今後の展望について	(株)本田技術研究所 新村 光一 氏	357
平成22年10月15日(金)	トヨタハイブリッドシステムの開発と今後の技術展望について	トヨタ自動車(株) 朝倉 吉隆 氏	302
平成22年11月9日(火)	ハイブリッド自動車用センサー「シングルシン」の開発 (技術講演会①)	多摩川精機(株) 萩本 範文 氏	65
平成22年11月26日(金)	持続可能な社会への挑戦 —これからの自動車を展望— (技術講演会②)	前パナソニックEVエナジー(株) 藤井 雄一 氏	130
平成23年1月27日(木)	レアアースの資源・製品・リサイクル (技術講演会③)	(株)三徳 中西 二郎 氏	103
平成23年3月22日(火)	日本自動車部品メーカーはインド進出で生き残る	(株)ROUND 笠木 英文 氏	166

2.5.3 研究会

名 称:埼玉県次世代自動車研究会

発 足 日:平成22年8月30日

研究会内訳:電動機、制御系、バッテリー、内燃機関係部品、変速機系、その他

会 員 数:77社

2.5.4 常設展示(インサイト、プリウス分解部品)

開催日:平成22年10月1日(金)～平成23年3月25日(金)

(3月22日(火)～25日(金)の間は、インド・TATA社のNanoのカットモデルも併せて展示)

参加人数 企業向け 488社 1,273人

一般向け 938人

※インサイト一般公開 平成22年7月5日(月)～7月6日(火) 299人

※インサイト・プリウス一般公開 平成22年10月15日(金) 189人

2.6 技術講習会、講演会の開催

本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H22.4.14	鋳物技術委員会	川口鋳物工業 協同組合会議室	鋳造技術コンクールに関すること等	15
H22.4.16	第 529 回鋳物技術 講演会	川口鋳物工業 協同組合会議室	「徒弟制度による技能伝承と鋳物の 歴史」 川口鋳物工業協同組合 技術顧問 山中 昇 氏	62
H22.4.16	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	総会	13
H22.5.11	鋳造技術コンクール 説明会	川口鋳物工業 協同組合会議室	出品要件及び審査基準の説明	31
H22.5.14 H22.5.21 H22.5.28	第 216 回鋳物技術 講習会	川口鋳物工業 協同組合会議室	「鋳造技術の実践知識」 ものづくり大学 特別客員教授 鈴木 克美 氏 (社)日本鋳造協会 技術顧問 納屋 喜郎 氏 (株)永瀬留十郎工場 専務取締役 永瀬 勇 氏	120
H22.5.21	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	9
H22.6.4	品質工学講演会	ものづくり大学	「教育現場での品質工学とその推進をテ ーマとした内容」 富山高等専門学校 山本桂一郎 氏	30
H22.7.5~6	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術 総合センター	平成 21 年度 SAITEC の研究成果発表 研究成果ポスター等展示 次世代自動車展示、講演会	472
H22.7.14	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	平成 21 年度 SAITEC の研究成果発表 研究成果ポスター等展示、講演会	79
H22.7.14	鋳物技術委員会	川口鋳物工業 協同組合会議室	鋳造技術講演会・講習会に関すること等	12
H22.7.16	第 530 回鋳物技術 講演会	川口鋳物工業 協同組合会議室	「誘導電気炉の最新技術動向と使いこな しについて」 富士電機サーモシステムズ(株) 技術部長 植村 浩 氏	68
H22.7.16	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	11
H22.8.20	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	11
H22.9.10 H22.9.17 H22.9.24	第 217 回鋳物技術 講習会	川口鋳物工業 協同組合会議室	全体テーマ名「鋳鉄の高付加価値化を 目指した現場鋳造技術」 「都市型鋳物工場の生き残りのための高 機能材料開発と環境対策」 (株)三共合金鋳造所 総括部 松元 秀人 氏 「鋳鉄品の高付加価値化を目指した現 場鋳造技術」 石原技術士事務所 所長 石原 安興 氏 「ダクタイル鋳鉄の開発動向と高付加価 値化事例」 ものづくり大学 客員教授 鈴木 克美 氏	88
H22.9.22	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	8

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H22.10.13	鋳物技術委員会	川口鋳物工業 協同組合会議室	鋳造技術講演会・講習会に関すること等	14
H22.10.15	第531回鋳物技術 講演会	川口鋳物工業 協同組合会議室	「鋳鉄鋳物製造での不純物元素制御に ついて」 (地独)岩手県工業技術センター 顧問 勝負澤 善行 氏	13
H22.10.15	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	8
H22.11.5	SAITEC・埼玉県熱処理 技術研究会合同講演 会	産業技術総合セン ター	～帰ってきたはやぶさ～「航空宇宙産業 への挑戦」 (株)JAL テクノサービス 徳永 俊二 氏 (独)宇宙航空研究開発機構 吉田 誠 氏	79
H22.11.11	第4回ものづくり講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「企業のメンタルヘルス対策～まずはじ めに何から～」 村岡社労士事務所 村岡 武仁 氏 会員企業、SAITEC 職員による事例発表	51
H22.11.17	埼玉県鋳造技術 コンクール表彰式	埼玉県産業技術 総合センター	講評会講師 鋳物技術委員 足立亘氏 表彰式:田中県議 埼玉県産業技術総合センター長他	50
H22.11.24	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	5
H22.11.26 H22.12.3 H22.12.11	第218回鋳物技術 講習会	川口鋳物工業 協同組合会議室	全体テーマ 「鋳物(鋳鉄, 鋳鋼, 非鉄)の熱処理及 びメッキ処理について」 「各種めっき処理法および皮膜特性 と鋳物へのめっき処理について」 東京都市大学(元武蔵工業大学) 名誉教授 星野 重夫 氏 「金属材料の熱処理基礎」 山方技術士事務所 所長 山方 三郎 氏 「鋳物(鋳鉄・鋳鋼・非鉄)の熱処理につ いて」 山方技術士事務所 所長 山方 三郎 氏	84
H22.12.17	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	12
H23.1.21	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術 総合センター	定例会 講師:会員	9
H23.2.3	めっき技術講演会	パレスホテル大宮	星野 重夫 氏	52
H23.2.3	埼玉県めっき技術競技 会表彰式	パレスホテル大宮		52
H23.2.9	鋳物技術委員会	川口鋳物工業 協同組合会議室	次年度の技術コンクールに関するこ と等	14
H23.2.9	第532回鋳物技術 講演会	川口鋳物工業 協同組合会議室	「アルミニウム合金鋳物・ダイカスト の技術動向ー高機能化・軽量化を目指 してー」 (地独)東京都立産業技術研究センター 先端加工グループ長 佐藤 健二 氏	21
H23.2.9	高周波計測入門セミナ ー	埼玉県産業技術 総合センター	ネットワークアナライザ基礎セミナ マイクロ波電子材料測定ソリューション アジレント・テクノロジー(株) 桜井 昭寛 氏	7
H23.2.10	オシロスコープによる計 測機器の技術セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	「オシロスコープによる計測機器の基 礎、ジッタ計測/評価法、コンプライア ンス試験法」 レクロイ・ジャパン(株) 取締役 技術部長 辻 嘉樹 氏	8

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H23.2.18	EMC 講習会	埼玉県産業技術総合センター	「失敗の少ないノイズ対策を行うための誤動作要因の究明とノイズ対策」 (株)電研精機 ノイズトラブル相談室長 平田 源二 氏	26
H23.2.18	品質工学フォーラム 埼玉	埼玉県産業技術総合センター	定例会、講師:会員	6
H23.2.25 H23.3.4	第 219 回鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合会議室	全体テーマ名 「鋳物の加工性・切削性の基本知識について」 「ねずみ鋳鉄のからしによる被削性改善から見た凝固形態の考察」 (株)スギヤマ山梨工場 取締役 望月 栄治 氏 「鋳物の加工性・切削性の基本知識」 (株)タンガロイ 研修センター長 鈴木 久造 氏	25

本 所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H22.5.20	埼玉県ものづくり研究会 総会・講演会	大宮ソニックシティ	通常総会、講演会 「将来のエネルギーと自動車の展望」 ものづくり大学 学長 神本 武征 氏	30
H22.5.21	埼玉県熱処理技術研究会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術総合センター	「最近の中国熱処理事情」 江蘇豊東熱技術股份有限公司 董事長 朱 文明 氏	55
H22.6.23～ 24	第 6 回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	超音波試験技術者養成講習 永井 寛	45
H22.6.25	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	熱処理の社員教育、熱処理技術研究会役員他	27
H22.6.26	平成 22 年度鑄造カレッジ開校式	川口鋳物工業協同組合 会議室	今年度の鑄造カレッジ(鋳鉄コース、非鉄コース鉄)の開校式	38
H22.7.9,16, 23	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	熱処理の社員教育、熱処理技術研究会役員他	81
H22.10.13	埼玉県ものづくり研究会 第 1 回見学会	本田技研工業株式会社製作所 ㈱ミツヨ宇都宮事業所	工場見学、講演	33
H22.11.9～ 10	第 7 回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	超音波試験技術者養成講習 永井 寛	45
H23.1.26～ 28	鑄造カレッジ・インターンシップ・非鉄(銅合金)コース	埼玉県産業技術総合センター	1/26,27,28 「鑄造品の組織観察、非破壊評価」 永井 寛、笹川 俊夫 1/28 「鑄造品の評価と解析」 井上 裕之	各 10
H23.1.26～ 28	鑄造カレッジ・インターンシップ・非鉄(アルミ合金)コース	埼玉県産業技術総合センター	1/28 ・鑄造品の評価と解析 井上 裕之	12
H23.1.31～ H23.2.4	鑄造カレッジ・インターンシップ・鋳鉄コース	埼玉県産業技術総合センター	鋳物の造型、溶解、鑄造、評価、解析、実験のまとめ方 金属材料・評価担当職員 環境・分析担当職員 生産技術担当職員	125 (25×5)

北部研究所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H22.6.15	大豆発酵食品講習会 (醤油)	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「醤油の防備技術について」 (財)日本醤油技術センター 中台 忠信 氏 「アドバンスドサニタリーシステムの開発と 食品工業への応用」 産業技術総合センター北部研究所 富永 達矢	22
H22.6.21	清酒出荷管理講習会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「清酒の香りについて」 技術アドバイザー 山田 和男 氏 産業技術総合センター北部研究所 増田 こずえ 「お爛すると美味しい日本酒」 技術アドバイザー 大橋 勝 氏 産業技術総合センター北部研究所 横堀 正敏 「インターナショナル・ワイン・チャレンジ チャンピオン・サケ」 関東信越国税局鑑定官室 主任鑑定官 佐藤 泰崇 氏 井原 信二 氏	36
H22.6.21	市販清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「特徴ある酒についてきき酒、ディスカッ ション」 関東信越国税局 佐藤 泰崇 氏 井原 信二 氏 技術アドバイザー 大橋 勝 氏 山田 和男 氏	37
H22.7.14	SAITEC 研究発表会 (熊谷会場)	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「食品工場の衛生管理について～ HACCP 導入～」 東海大学 海洋学部水産学科 特任教授 小沼 博隆 氏	79
H22.9.24	清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「清酒審査講評」 関東信越国税局 佐藤 泰崇 氏 能勢 雅樹 氏 技術アドバイザー 大橋 勝 氏 山田 和男 氏	27
H22.11.10	第7回埼玉北部地域技 術交流会	立正大学	「事業の海外戦略について～市場として の東南アジア(中国、インド、ベトナムな ど)～」 山形大学 大学院 理工学研究科 教授 野長瀬 裕二 氏 株式会社メラン 代表取締役 新田 一福 氏	507
H22.12.14	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の製造について」 産業技術総合センター北部研究所 増田 こずえ	16
H23.2.17	ものづくり講演会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「切り開け、ものづくり日本 ～中小企業 は日本のまごころ、世界の宝～」 政策研究大学院大学 教授 橋本 久義 氏	32
H23.2.22	大豆発酵食品講習会 (味噌)	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「みそ造りのこだわり」 前(社)中央味噌研究所 常任理事 藤波 博子 氏	77
H23.3.8	米菓研究会講習会	新都心ビジネス交 流プラザ	「トレンド 2001」 フジキミヨデザインオフィス 藤 きみよ 氏	19
H23.3.14	杜氏研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 産業技術総合センター北部研究所 増田 こずえ	14

注)米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会については、5.2 新技術情報交流支援
(研究会・交流会の開催)に再掲。

北部研究所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H23.1.28	平成 22 年度醤油技術講習会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	醤油醸造技術(共同開催) 講師 江口 卯三夫 氏 松本 秀樹 氏	25

2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,173 本	586,500
醤油用酵母	8 本	12,000
合 計	1,181 本	598,500

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、技術ニーズ・地域ニーズに対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

3.1.1 政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(研究プロジェクト、産業支援研究)

本所

- 中・小規模施設向けビルエネルギー管理システム(BEMS)の開発
- 福祉用具の機能別共通試験方法に関する研究～「過負荷防止機能」の試験方法の開発～
- ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究②
- レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究①
- 超臨界流体を用いた精密成形に関する研究
- マイクロ波を利用した環境負荷低減技術の開発
～カーボンフェルト電極マイクロ波放電を利用したマグネシウム二次電池正極活物質の開発～

北部研究所

- 栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発
- 県産素材を用いた高付加価値食品の開発
 - (i) 県産小麦麺の色調保持技術の開発②
 - (ii) 米粉を用いた新規製麺技術の開発②～植物繊維を利用した米粉麺～
- 遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発
- 清酒酵母の開発②

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

本所

- 高分解能高推力リアモータの開発
- ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発
- 1GHzを超える電磁ノイズ環境のサイト評価と測定に関する研究

北部研究所

- 埼玉県産硬質小麦の製パン利用技術の確立
- 抗カビ剤の簡易評価法の開発

(3) CO₂削減・省エネ技術イノベーション促進事業

- 多元多点光ファイバセンシングによる省エネ・防災システムの開発(本所)
- 空気の渦流れを利用するバイオマスと石油の異種燃料燃焼器の開発(本所)

(4) 競争的資金による研究開発

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- 鋳鉄金型によるアルミニウムダイカスト法の開発
- アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型低圧鋳造法の開発
- ナノフェライト粒子の量産製造技術の開発と応用展開
- 超小型内視鏡部品製造のための知的ポスト処理システムによる高精度切削加工技術の開発
- 発酵食品製造における微生物汚染防止のための品質管理システムの開発
- 成形サイクルの短縮に係わる型技術の開発
- アルミ鍛造の生産工程削減を可能とする潤滑油の開発
- 電気自動車の走行モータ用超軽量シャフトを実現する超精密摩擦圧接システムの開発

[地域イノベーション創出研究開発事業 関東経済産業局]

- MEMS 技術を用いた圧電型 6 軸モーションセンサの研究開発
- 高度難削材・複雑形状の先進ファブ리케이션技術体系構築

[イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)) 文部科学省]

- 高速分子進化技術を核とするバイオ・ものづくりクラスターの形成

- [次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))
 ○カーボンフェルト電極マイクロ波放電を利用したマグネシウム二次電池正極活物質の開発(再掲)
 [研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) (独)科学技術振興機構(JST))
 ○ライン型高密度大気圧プラズマ源による非晶質薄膜の大面積結晶化技術開発

3.1.2 受託研究

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (千円)
本所	9	1,708
北部研究所	7	1,641
計	16	3,349

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (千円)
本所	9	10,072
北部研究所	4	2,148
計	13	12,220

3.2 研究開発の実用化・商品化

- (1) 栗渋皮を用いた石けんの開発
栗渋皮(県産栗ぼろたん)を有効活用した体臭予防に有用な石鹸を開発した。
- (2) チョコレートプレートの商品の開発
チョコレートのオリジナルデザインを開発した。
- (3) 県産木材を用いたオリジナル商品の開発
県産木材を使用したオリジナル製品を開発した。
- (4) オリジナルプリント製品の開発
被服等のオリジナルデザインの商品を開発した。
- (5) 卓上倒立型粘弾性測定装置の開発
物の粘りと弾力性を同時に数値化することができる測定装置を開発した。食品、化成品等の評価、開発、品質管理への利用可能である。
- (6) 発酵食品製造における微生物汚染防止のための品質管理システムの開発
乳酸菌群を分別定量し、マイクロフローラ分析を行うためのツールを開発した。製造工程において乳酸菌による食品汚染が生じたとき、汚染源や汚染ルート調べる事が可能である。

3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員	指導分野	指導日数
松田技術経営研究所 松田 信一 氏	生産関連	5
埼玉大学 池野 順一 氏	生産関連	3
埼玉大学 澁谷 秀雄 氏	生産関連	2
元(独)産業技術総合研究所 近森 邦夫 氏	生産関連	4
(独)産業技術総合研究所 松本 治 氏	福祉関連	1
城西大学 和田 政裕 氏	バイオ関連	4
お茶の水女子大学 村田 容常 氏	バイオ関連	3
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 竹中真紀子 氏	バイオ関連	1
東京大学 空閑 重則 氏	バイオ関連	2
工学院大学 山田 昌治 氏	バイオ関連	2
東京大学 小柳津 広 氏	バイオ関連	4
東京農業大学 野口 智弘 氏	バイオ関連	2
12名	3分野	33

3.4 研究成果の公表

3.4.1 センター主催の発表

本所

(2) SAITEC 研究発表会 (掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第8巻』)

年月日	研究題目	発表者名
H22.7.5	電子顕微鏡用アパーチャーの微細孔加工技術の開発 ～モリブデン箔の毒劇物フリー電解エッチング加工～	生産技術担当 出口 貴久
	ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究	生産技術担当 南部 洋平
	光学ガラスの高効率鏡面加工に関する研究	生産技術担当 落合 一裕
	スルーホールめっきへの磁場の適用に関する研究	環境・分析担当 佐野 勝
	超臨界流体を用いた微細発泡射出成形における CELL 成長挙動に関する研究(2)	生産技術担当 山田 岳大
	自由空間法による 900MHz電波吸収測定に関する研究	電子技術・電磁波測定担当 戸枝 保
	福祉用具の機能別共通試験方法に関する研究	戦略プロジェクト担当 半田 隆志
	オンサイト型超微小硬さ測定機の開発	電子技術・電磁波測定担当 荻野 重人
	高速メモリ回路基板の設計・評価に関する研究	電子技術・電磁波測定担当 本多 春樹
	放射電磁ノイズに対する誤動作防止対策に関する研究	電子技術・電磁波測定担当 戸枝 保
H22.7.6	県産素材を用いた高付加価値食品の開発 ～県産小麦麺の色調保持技術の開発	生物学担当 小島 登貴子
	県産素材を用いた高付加価値食品の開発 ～栗ポリフェノールの利用	生物学担当 樋口 誠一
	米粉を用いた新規製麺技術の開発	生物学担当 常見 崇史
	細菌構成相解析によるアドバンスドサニタリーシステムの開発	生物学担当 富永 達矢
	抗菌剤の簡易評価法の開発	生物学担当 細井 永次
	埼玉酵母の特性解析	生物学担当 横堀 正敏
	清酒酵母の開発	生物学担当 横堀 正敏
	中・小規模施設向けビルエネルギー管理システムの開発	戦略プロジェクト担当 半田 隆志
	廃酸利用による木質系環境浄化材の研究開発	環境・分析担当 熊谷 知哉

(2) SAITEC 技術セミナー

年月日	研究題目	研究・発表者名	備考
H22.9.21	マグネシウム二次電池正極材料の研究開発	戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀	「バイオとナノの最前線を探る」(東洋大学等と共催)
	細菌構成相解析によるサニタリーシステムの開発	生物学担当 富永 達矢	「バイオとナノの最前線を探る」(東洋大学等と共催)
H22.10.15	多元多点光ファイバセンシングによる省エネ・防災システムの開発	生産技術担当 増田 伸二 (株)渡辺製作所 小松 康俊 氏 中野 正行 氏	産学官ビジネスフェアでの講演
	空気の渦流れを利用するバイオマスと石油の異種燃料燃焼器の開発	環境・分析担当 熊谷 知哉 金子農機(株) 土門 正幸 氏 藤原 逸平 氏	産学官ビジネスフェアでの講演
H23.3.11	マグネシウム二次電池正極材料の研究開発	戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀	NEDO 次世代自動車用蓄電池技術開発プロジェクト

北部研究所

SAITEC 研究発表会(熊谷会場)(掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第8巻』)

年月日	研究題目	発表者名
H22.7.14	電子顕微鏡用アパーチャーの微細孔加工技術の開発 ～モリブデン箔の毒劇物フリー電解エッチング加工～	生産技術担当 出口 貴久
	ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究	生産技術担当 南部 洋平
	光学ガラスの高効率鏡面加工に関する研究	生産技術担当 落合 一裕
	樹脂溶着技術に関する研究(2)	生産技術担当 山田 岳大
	県産素材を用いた高付加価値食品の開発 ～ 県産小麦麺の色調保持技術の開発 ～	生物学担当 小島 登貴子
	県産素材を用いた高付加価値食品の開発 ～ 栗ポリフェノールの利用～	生物学担当 仲島 日出男
	米粉を用いた新規製麺技術の開発	生物学担当 常見 崇史
	抗菌剤の簡易評価法の開発	生物学担当 細井 永次
	細菌構成相解析によるアドバンスドサニタリーシステムの開発	生物学担当 富永 達矢
	埼玉酵母の特性解析	生物学担当 横堀 正敏
	清酒酵母の開発	生物学担当 横堀 正敏

3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

本所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H22.4.1	エチレングリコール系溶液による電解エッチング加工	出口 貴久		表面技術 Vol.61, No.4, 2010
H22.5.1	電解研磨による平滑化	出口 貴久		砥粒加工学会誌 Vol.54, No.5, 2010
H22.5.22 ～23	1 アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型低圧鋳造法の開発 2 鋳鉄金型によるアルミニウムダイカスト法の開発 3 Al-5%Fe 合金の凝固組織への磁場効果 4 開発品 減圧凍結鋳型鋳造システムー環境低負荷型の鋳造システムー	永井 寛	日本鋳造工学会 第156回全国講演大会 ポスター発表展示	
H22.5.31	燃料噴射用ノズルへの微細深穴加工	南部 洋平	第6回 横浜・難削材(チタン等)切削技術開発研究会	
H22.6.1	X線CTを用いたHIPSとPPにおける微細発泡射出成形内部構造の観察	山田 岳大	第21回プラスチック成形加工学会年次大会	第21回プラスチック成形加工学会年次大会 予稿集
H22.6.16	Warp simulation and the experimental verification of an L-plate sand mold casting by using the thermo-elastoplastic FEM code	Kenichi Ohura, Akitake Makinouchi, Cristian Teodosiu, Yutaka Nagai, Jyuichi Nagse	The 10 th International Conference on Numerical Methods in Industrial Forming Processes	Proceedings of the 10 th International Conference on Numerical Methods in Industrial Forming Processes
H22.6.16	オンサイト型超微小硬さ測定機の開発	荻野 重人	東京都立産業技術研究センター 研究発表会	
H22.6.16	ガスタービン用ノズルの微細深穴加工	南部 洋平	東京都立産業技術研究センター 研究発表会	
H22.7.8	Correlation between Molding Condition and Foam Morphology of PP and HIPS with X-ray CT in Microcellular Injection Molding	Takehiro Yamada	The polymer processing society 26 th annual meeting	Proceedings of the polymer processing society 26 th annual meeting
H22.9.16	AZO, ZnO 短時間熱プラズマアニールにおけるa-Siキャップの効果	清水 宏一 (発表 埼玉大学 太田 直希)	第71回応用物理学会 学術講演会	
H22.9.27	ガスタービン用ノズルの微細深穴加工(第3報)	南部 洋平	2010 精密工学会 秋季大会	2010 精密工学会 秋季大会講演論文集
H22.9.28	モリブデン箔の毒劇物フリー電解エッチング加工	出口 貴久	2010 精密工学会 秋季大会	2010 精密工学会 秋季大会講演論文集
H22.10.3	アルミニウム基複合材料への砂型低圧鋳造の適用	永井 寛 笹川 俊夫 井上 裕之	(社)日本鋳造工学会 第157回全国講演大会	(社)日本鋳造工学会 第157回全国講演大会講演概要集
H22.10.13	高機能樹脂成形技術の開発ー高圧二酸化炭素による溶着法の検討ー	山田 岳大	神奈川県ものづくり技術交流会	
H22.11.13	X線CTを用いたHIPSとPPにおける微細発泡射出成形内部構造の観察II-つらら状長尺セル形成の検討-	山田 岳大	第18回プラスチック成形加工学会秋季大会	第18回プラスチック成形加工学会秋季大会 予稿集
H22.11.13	超臨界微細発泡射出成形における発泡積層構造形成過程モデルの提案	山田 岳大	第18回プラスチック成形加工学会秋季大会	第18回プラスチック成形加工学会秋季大会 予稿集

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H22.11.19	高アスペクト比微細深穴加工 -超音波振動付加における加工現象-	南部 洋平	第8回生産加工・工作機械部門講演会	第8回生産加工・工作機械部門講演会講演論文集
H23.3.5	超音波振動を援用した高アスペクト比微細深穴加工	南部 洋平 落合 一裕		精密工学会誌 2011 Vol77 No.3
H23.3.10	アルミ基複合材のハイブリッド砂型低圧鋳造法について	永井 寛	第12回鋳造設備研究会	

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H22.6.17	抗菌剤の簡易評価方法の開発	細井 永次	東京都立産業技術研究センター 研究発表会	
H22.7.13	細菌構成相解析によるサニタリーシステムの開発	富永 達矢	日本醸造協会・醸造調味食品セミナー	
H22.7.29	埼玉県産小麦麺の色調保持技術の開発	小島 登貴子	千葉県産業支援技術研究所発表会	
H22.7.30	埼玉県内植物資源由来のポリフェノール類の検索及び利用	仲島 日出男 樋口 誠一		農業及び園芸
H22.9.1 ~3	埼玉県産小麦品種「ハナマンテン」の製パン特性	海野 まりえ 仲島 日出男	日本食品科学工学会・第57回大会	
H22.9.1 ~3	埼玉県産小麦麺の色調改善技術の開発	小島 登貴子 樋口 誠一 仲島 日出男	日本食品科学工学会・第57回大会	
H22.9.10	埼玉県産の小麦麺の活用に向けて～ゆで麺の食感評価法と色調保持技術の検討	小島 登貴子	AACC 日本支部講演会	
H22.9.15	埼玉県産の小麦麺の活用に向けて～ゆで麺の食感評価法と色調保持技術の検討	小島 登貴子	H22 年関東東海北陸農業試験研究推進会議流通加工部会現地研究会	
H22.10.14	細菌構成相解析によるアドバンスサニタリーシステムの開発	富永 達矢	神奈川県ものづくり技術交流会	
H22.12.17	県産小麦麺の色調保持技術の開発	小島 登貴子		(独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所・食品関係技術研究会報
H23.3.25	ゆで麺の退色における LOX 活性及び抗酸化成分の関与について	小島 登貴子 仲島 日出男	日本農芸科学会 2011 年度大会	

3.5 研究課題の評価

3.5.1 事前評価

平成 23 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

〈平成 22 年 9 月 30 日開催〉

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所	食品素材科学研究領域長	松 倉 潮 氏
(独)産業技術総合研究所	産学連携コーディネータ	山 中 忠 衛 氏
芝浦工業大学	教授	安 齋 正 博 氏
インキュベーションマネージャー		藤 井 学 氏
東洋大学	名誉教授	清 澤 文 彌 太 氏
(財)埼玉県中小企業振興公社	知的財産アドバイザー	野 口 満 氏

3.5.2 事後評価

平成 21 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及についての参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

〈平成 22 年 5 月 19 日開催〉

東洋大学	名誉教授	清 澤 文 彌 太 氏
(独)産業技術総合研究所	産学官連携コーディネータ	池 田 喜 一 氏
(独)産業技術総合研究所	産学官連携コーディネータ	山 中 忠 衛 氏
インキュベーションマネージャー		藤 井 学 氏
(財)埼玉県中小企業振興公社	知的財産アドバイザー	野 口 満 氏

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、産学官連携展示会、SAITEC 技術セミナーなどを開催した。また、研究・技術開発に対する助成制度を活用するとともに、CO₂ 削減、省エネ・省エネ関連技術及び製品開発を支援するため環境対応ビジネス振興事業を実施した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金にも連携により 22 テーマ応募し、13 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産学官ビジネスフェア、産学連携フェアなど他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC 研究発表会(再掲)

SAITEC の研究成果の展示・発表を行い、連携推進につながるよう県内企業等への研究・技術紹介などを行った。

開催日：平成 22 年 7 月 5 日(月)～6 日(火)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：472 名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示、施設見学会

特別講演会： テーマ「次世代自動車の技術動向と今後の展望について」

講師：(株) 本田技術研究所 新村 光一 氏

SAITEC 技術セミナー： テーマ「地球にやさしいダイカスト用離型剤の開発～画期的な油性型ダイカスト用離型剤の開発による生産性、環境性、経済性向上技術」

講師：(株) 青木科学研究所 小松原 博昭 氏

(2) SAITEC 研究発表会(熊谷会場)(再掲)

SAITEC の研究成果の展示・発表を行い、連携推進につながるよう県内企業等への研究・技術紹介などを行った。

開催日：平成 22 年 7 月 14 日(水)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：79 名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示

技術講演： テーマ「食品工場の衛生管理について～HACCP 導入～」

講師 東海大学 海洋学部水産学科 特任教授 小沼 博隆 氏

(3) 埼玉北部地域技術交流会

62 企業、6 教育機関、15 支援機関、3 商工会議所、4 商工会からの製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催した。

開催日：平成 22 年 11 月 10 日(水)

会場：立正大学

基調講演： テーマ「事業の海外戦略について ～市場としての東南アジア(中国、インド、ベトナムなど)～」

講師：山形大学大学院理工学研究科 教授 野長瀬 裕二 氏

株式会社メラン 代表取締役 新田 一福 氏

出展：90 企業・団体

参加者：403 名

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 22 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。

平成 22 年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H22.4.26	E-kizuna サミット・フォーラム	ホテル ブリランテ武蔵野	100
H22.5.17	戸田市産業推進交流会	戸田市商工会	50

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H22.5.23	日本鑄造工学会 第 156 回全国講演大会 (SAITEC 紹介ポスター展示)	近畿大学・11 月ホール	---
H22.7.5～6 7.14	SAITEC 研究発表会(再掲)	埼玉県産業技術総合センター本所 " 北部研究所	551
H22.9.3	分析展 2010/科学機器 2010 合同展	幕張メッセ	267
H22.10.15	産学官ビジネスフェア	東京国際展示場	292
H22.11.10	北部地域技術交流会	立正大学(熊谷キャンパス)	403
H22.11.12	産業交流展 2010	東京国際展示場	474
H22.11.17	第 7 回 東和新生会 ビジネス交流会	熊谷スポーツ文化公園 「彩の国熊谷ドーム」	---
H23.1.27	産学連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	163
H23.2.3	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	138
H23.2.26	第5回熊谷市産学官連携フォーラム	立正大学 熊谷キャンパス	160
H23.3.2～4	第 1 回国際スマートグリッド展 NEDO 出展 ブース	東京国際展示場	---

4.1.4 SAITEC 技術セミナー

SAITEC が取り組んでいる実用化につながる技術や、研究成果について講演会等を開催し、産学官の研究交流、共同研究の推進を図った。

- (1) 第 1 回 SAITEC 技術セミナー(スペシャルバージョン) 平成 22 年 4 月 26 日(月) 参加人数:100 名
「次世代ものづくりアカデミー事業」を中心としたPR
ハイブリッド車の分解部品の展示や研究会の設置を通じて、県内中小企業の新規参入や業種転換を促すための取り組みを中心に、展示・説明を行った(E-KIZUNAサミットと共催)。
講師:埼玉県産業技術総合センター 企画・総務室 原田 勝利
伊藤 幸希
- (2) 第 2 回 SAITEC 技術セミナー 平成 22 年 7 月 6 日(火) 参加人数:72 名
 - ① 「自動車産業の現状」
講師:埼玉県産業技術総合センター センター長 荒木 純一
 - ② 「地球にやさしいダイカスト用離型剤の開発」
講師:(株)青木科学研究所 主席研究員 小松原 博昭 氏
- (3) 第 3 回 SAITEC 技術セミナー 平成 22 年 9 月 21 日(火) 参加人数:78 名
「バイオとナノの最前線を探る」
講師:東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター長 前川 透 氏
東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター 和田 恭雄 氏
東洋大学 理工学部 教授 吉田 泰彦 氏
東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター 相川 俊一 氏
東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター 安喜 敦士 氏
(独)物質・材料研究機構国際ナノテクノロジーネットワーク拠点長 野田 哲二 氏
(独)物質・材料研究機構ナノテクノロジー融合センター 副センター長 花方 信孝 氏
埼玉県産業技術総合センター 生物学担当 富永 達矢
埼玉県産業技術総合センター 戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀
- (4) 第 4 回 SAITEC 技術セミナー 平成 22 年 10 月 15 日(金) 参加人数:42 名
 - ① 「多元多点光ファイバセンシングによる省エネ・防災システムの開発」
講師:(株)渡辺製作所 小松 康俊 氏
中野 正行 氏
埼玉県産業技術総合センター 生産技術担当 増田 伸二
 - ② 「空気の渦流れを利用するバイオマスと石油の異種燃料燃焼器の開発」
講師:金子農機(株) 土門 正幸 氏
藤原 逸平 氏
埼玉県産業技術総合センター 環境・分析担当 熊谷 知哉

(5) 第5回 SAITEC 技術セミナー 平成23年3月11日(金) 参加人数: 50名

- ①「希少元素に依らない高性能マグネシウム合金の開発」
講師:(独)物質・材料研究機構 特別研究員 向井 敏司 氏
- ②「レアメタル消費量大幅削減への道を開く熱凝集耐性排ガス触媒の開発」
講師:(独)物質・材料研究機構 主任研究員 阿部 英樹 氏
- ③「マグネシウム二次電池正極材料の研究開発」
講師:埼玉県産業技術総合センター 戦略プロジェクト推進担当 栗原 英紀

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企業支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、(財)埼玉県中小企業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では、平成22年度は22件の応募で13件の採択を得ることができた(再掲)。他に県の補助金についても4件の採択があった。

4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究採択実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成22年度 イノベーションシステム整備事業地域 イノベーションクラスタープログラム(都 市エリア型)【埼玉・圏央エリア】 (文部科学省)	高分子進化技術を核とするバイオ・もの づくりクラスターの形成	ジェナシス(株) (株)ライフテック アスピオファーマ(株) (株)エヌビー健康研究所 ヒラソルバイオ(株) (株)ビー・エム・エル 片倉工業(株) (株)カイオム・バイオサイエンス (株)トミーデジタルバイオロジー (株)イムノ・プローブ (株)ニコインステック (株)オプトクエスト 埼玉大学 東京大学 お茶の水女子大学 埼玉医科大学 新潟大学 九州大学 豊橋技術科学大学 (独)理化学研究所 埼玉県立がんセンター
平成22年度 地域イノベーション創出研究開発事業 (一般型・地域資源型) (関東経済産業局)	MEMS 技術を用いた圧電型6軸モーショ ンセンサの研究開発	(株)ワコー (株)タイセー 大日本印刷(株) (株)ワコーテック 京都大学
	高度難削材・複雑形状の先進ファブリケ ーション技術体系構築	新世代加工システム(株) (株)先端力学シミュレーション研究所 柳下技研(株) (株)サン精密化工研究所 池上金型工業(株) 埼玉大学 (独)理化学研究所 (独)産業技術総合研究所
平成22年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) (関東経済産業局)	鋳鉄金型によるアルミニウムダイカスト法 の開発	児玉鋳物(株) 本田金属技術(株)
	アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型 低圧鋳造法の開発	(株)田島軽金属 埼玉大学 (独)理化学研究所

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 22 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) (関東経済産業局)	成形サイクルの短縮に係わる型技術の 開発	池上金型工業(株) (株)サン精密化工研究所
	超小型内視鏡部品製造のための知的ボ スト処理システムによる高精度切削加工 技術の開発	(株)金子製作所 埼玉大学
	発酵食品製造における微生物汚染防止 のための品質管理システムの開発	コージンバイオ(株) (有)エスカル アース環境サービス(株)
平成 22 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) (関東経済産業局)	ナノフェライト粒子の量産製造技術の開 発と応用展開	(株)高純度化学研究所 リンテック(株) 浮間合成(株) FDK(株) アンテナ技研(株) 埼玉大学
平成 22 年度(予備費事業) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	電気自動車の走行モータ用超軽量シャ フトを実現する超精密摩擦圧接システム の開発	(株)秋山製作所 日本大学
	アルミ鍛造の生産工程削減を可能とする 潤滑油の開発	(株)青木科学研究所 静岡大学 (独)国立高等専門学校機 構 小山工業高等専門学校
平成 22 年度 次世代自動車用高性能蓄電システム 技術開発 (独)新エネルギー・産業技術総合開 発機構(NEDO))	カーボンフェルト電極マイクロ波放電を 利用したマグネシウム二次電池正極活 物質の研究開発	埼玉工業大学
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (独)科学技術振興機構(JST))	ライン型高密度大気圧プラズマ源による 非晶質薄膜の大面积結晶化技術開発	埼玉大学
平成 22 年度 埼玉県次世代産業参入支援事業費補 助金	軽量化を可能にするプラスチック射出成 形の新工法	PALMO(株) (有)三友金型工業所 早稲田大学
	卓上倒立型粘弾性測定装置の開発	(有)サンズコーポレーション
	ソフトスチームを使った二段蒸練々機の 開発	(株)新井機械製作所
	鋳物磨砂リサイクルゼオライトによる緊急 硫化水素ガス吸着システムの開発	永井機械鋳造(株) (独)国立高等専門学校機 構 八戸工業高等専門学校

4.3 環境対応ビジネス振興事業

ストップ温暖化に貢献するため、中小企業の CO₂削減、省エネ・新エネ関連技術及び製品開発を支援した。

●CO₂削減・省エネ技術イノベーション促進事業

昨年度より県内中小企業から公募して採択した「CO₂削減・省エネ技術」に係る課題を、審査委員会(継続審査)に諮った結果、継続実施が認められた。

審査委員会(継続審査)	埼玉工業大学	教授	矢嶋 龍彦 氏
	(財)埼玉県中小企業振興公社	知財アドバイザー	野口 満 氏
	コタニオフィス	中小企業診断士	古谷 照雄 氏
	NEDO		山田 宏之 氏

審査会の結果を受けて、企業・大学・県(埼玉県産業技術総合センター)が連携して共同研究体を形成し、共同研究事業を行った。

継続承認 2 件

★多元多点光ファイバセンシングによる省エネ・防災システムの開発(2)

(共同研究体:○(株)渡辺製作所、愛知工科大学、埼玉県産業技術総合センター)

★空気の渦流れを利用するバイオマスと石油の異種燃料燃焼器の開発(2)
 (共同研究体:○金子農機(株)、埼玉大学、埼玉県産業技術総合センター)
 ○は共同研究体における総括責任者を表す。

4.4 特許の取得推進とその活用

4.4.1 産業財産権の一覧

(1) 特許権

平成 22 年度は新たに 6 件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 59 件(未公開 7 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許権以外の出願及び所有はない。

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	浅漬の製造方法	H7.4.25 特願平 7-124340	H8.11.5 特開平 8-289722	H11.4.2 2906123	大島 貞雄	
2	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H11.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研 究所共同
3	データ入力装置	H12.8.10 特願 2000-242343	H14.2.20 特開 2002-055759	H19.6.8 3967531	町田 芳明	
4	液体分離方法及びこれを用いた濾過装置	H13.8.29 特願 2001-260219	H15.3.4 特開 2003-062408	H18.8.11 3840386	奥野 慎	他 4 名共同
5	成型方法	H13.12.26 特願 2001-393636	H14.9.11 特開 2002-254457	H19.3.30 3934936	山本 誠	
6	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-018954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
7	成型物の製造方法	H14.11.28 特願 2002-344902	H16.6.24 特開 2004-174957		山本 誠	(株)クラレ 共同
8	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
9	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
10	微小変位制御装置およびそれをを用いた装置と方法	H15.7.23 特願 2003-278137	H17.2.17 特開 2005-43239	H20.3.28 4102722	荻野 重人	
11	粘弾性測定装置及び粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	関根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレーシ ョン 共同
12	成型物の製造方法	H15.12.1 特願 2003-401363	H17.6.23 特開 2005-161605	H20.8.22 4171788	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォレス ト西川 共同
13	植生材及びその製造方法	H15.12.5 特願 2003-407471	H17.6.23 特開 2005-160447	H21.11.27 4414210	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォレス ト西川 共同
14	チタン系金属製品の製造方法	H16.2.27 特願 2004-053845	H17.9.8 特開 2005-240144	H22.2.5 4452524	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
15	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株)愛工 舎製作所、東洋大学 共同
16	積層板及びその製造方法	H16.5.11 特願 2004-140996	H17.11.17 特開 2005-319733	H22.6.11 4527238	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
17	微小変位制御装置およびそれをを用いた装置と方法	H16.5.21 特願 2004-151604	H17.12.2 特開 2005-331450		荻野 重人	
18	成型物の製造方法	H16.8.3 特願 2004-226677	H18.2.16 特開 2006-043984	H21.7.31 4349650	山本 誠	(株)クラレ、(協) フォレスト西川 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
19	柔軟なセンサ部位を用いたすべり・転がり検出システム及び検出方法	H17.6.8 特願 2005-168549	H18.12.21 特開 2006-343195		田中 智大 関根 俊彰	
20	納豆の製造方法	H17.7.12 特願 2005-2024	H19.2.1 特開 2007-020402		関根 正裕	日東食品(株) 共同
21	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-043921		富永 達矢 関根 正裕	
22	超微小硬さ等測定装置及び測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
23	微小変位制御装置と方法及びそれを用いた装置と方法	H17.11.18 特願 2005-334062	H19.6.7 特開 2007-143302	H21.9.18 4376697	荻野 重人	
24	チタン系金属材料用電解エッチング液及びチタン系金属製品の製造方法	H18.1.16 特願 2006-007700	H19.7.26 特開 2007-186776		出口 貴久	(株)健正堂 共同
25	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-027550	H19.8.16 特開 2007-203426		南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機(株) 共同
26	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-027551	H19.8.16 特開 2007-203427		南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機(株) 共同
27	熱電素子及びその製造方法	H17.1.7 特願 2005-003232	H18.7.20 特開 2006-190916		森田 寛之 黒河内 昭夫 和田 健太郎	
28	センサー機能付アクチュエータ装置及び粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-029111		関根 正裕	(有)サンスコーポレーション、(有)メカトランスフォーマ、共同
29	ゆとり値設定方法、ゆとり値設定装置、型紙パターン生成支援装置	H18.11.10 特願 2006-305407	H20.5.29 特開 2008-121133		柿沼 よしえ 宮原 進 鈴木 浩之	(株)エンボリック 共同
30	パーソナル人台生成装置、型紙パターン生成支援装置	H18.11.10 特願 2006-305413	H20.5.29 特開 2008-121134		柿沼よしえ 宮原 進 鈴木 浩之	(株)エンボリック 共同
31	めっき用治具及びめっき装置	H18.12.21 特願 2006-344306	H20.7.10 特開 2008-156677		森本 良一 矢澤 貞春	(株)山本鍍金試験器、他1名 共同
32	変形測定装置、変形測定方法及び変形測定プログラム	H19.3.19 特願 2007-069810	H20.10.2 特開 2008-232686		白石 知久 栗原 英紀	
33	身体傾斜角計測器及び身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527		半田 隆志	他 2 名共同
34	溶接装置及び溶接方法	H19.6.1 特願 2007-146598	H20.12.11 特開 2008-296260		白石 知久 栗原 英紀	他 1 名 共同
35	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法及び耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H19.6.7 特願 2007-151716	H20.12.18 特開 2008-303425		永野 正明 森田 憲輔	児玉鋳物(株) 共同
36	汚染粒子処理装置	H19.6.12 特願 2007-155197	H20.12.25 特開 2008-307436	H22.10.1 4596433	栗原 英紀 井村 俊彦	埼玉大学 共同
37	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647		落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技研、 埼玉大学 共同
38	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-076552	H20.10.2 特開 2008-231355		山田 岳大	
39	繊維材料の染色方法	H19.3.27 特願 2007-081561	H20.10.9 特開 2008-240190		横井 克行	
40	大腸菌群に属する細菌の検出方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363		富永 達矢 関根 正裕	
41	加熱調理装置及び加熱調理方法	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429		関根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、 学校法人早稲田大学 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
42	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-025923		山田 岳大 関根 正裕	
43	研削加工用砥石の製造装置 及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647		落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技 研、埼玉大学 共同
44	金属材料の簡易成分分析方 法	H21.7.2 特願 2008-173867	H22.1.21 特開 2010-014500		城谷 瑠美子	(独)日本原子 力研究開発機 構 共同
45	振動生成装置、動的粘弾性 測定装置、及び、動的粘弾 性測定装置	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-048722		関根 正裕	(株)GMタイセー 共同
46	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-068549		荻野 重人	
47	サウンドテーブルテニス用ラ ケット	H20.9.19 特願 2008-241837	H22.4.2 特開 2010-69160		新里 浩司	(株)スカイテクノ 他 2 名 共同
48	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839		関根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
49	ドレッシングの素、ドレッシン グ及びドレッシングの素の製 造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468		井上 和春	みたけ食品工 業(株)、東洋大 学、(株)愛工舎 製作所 共同
50	二次電池	H21.3.30 特願 2009-81371	H22.10.14 特開 2010-232148		栗原 英紀 井村 俊彦	
51	耐アルミニウム溶湯溶損性 鋳鉄の製造方法およびアル ミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H21.4.28 特願 2009-99126	H22.11.4 特開 2010-248571		森田 憲輔 永野 正明 矢澤 貞春	児玉鋳物(株) 共同
52	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同

4.4.2 実施許諾

本年度は「浅漬の製造方法」、「加熱調理装置及び加熱調理方法」及び「加熱調理装置、および、加熱調理方法」の3件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 19 社(使用特許数は 25 件)となった。

4.4.3 センター特許技術の紹介展示

- 分析展 2010/科学機器展 2010 合同展

期 日:平成 22 年 9 月 1 日(水)～3 日(金)

会 場:幕張メッセ 国際展示場

展示物:①動的粘弾性測定装置2種(ピエゾ式及び超磁歪式)

②汚染源探索システム

主 催:社団法人日本分析機器工業会／日本科学機器団体連合会

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。例会・研修会等の開催11回、参加者132名であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：河野 律子(有限会社 河野経営研究所 代表取締役)

会員数：37社

年月日	開催場所	内 容
H22.5.12	埼玉県男女共同参画推進センター	◇平成22年度総会 ◇講演会『進化するウェブメディア』 NTTレゾナント(株) 企画部長 菅原 英宗 氏
H22.6.14	埼玉県産業技術総合センター	第1回例会 ホンダ インサイト分解部品の見学
H22.8.6	(独)理化学研究所	第1回研修会 ◇「生態系サービスの社会実装を目指してー環境オミックスが開く新しい社会ー」 守屋バイオスフィア科学創成研究ユニット ユニットリーダー 守屋 繁春 氏 ◇理研インキュベーションプラザ見学 株メガオプト(理研ベンチャー) 株セル・リムーバー(早大発ベンチャー) 株カイオム・バイオサイエンス(理研ベンチャー) 新世代加工システム株(理研ベンチャー)
H22.9.13	埼玉県産業技術総合センター	第2回研修会 トヨタのプリウスの分解部品の見学
H22.12.13	埼玉県男女共同参画推進センター	臨時総会・第2回例会 ◇会員企業によるプレゼンテーション ワールド技研(株) 菅沼 進 氏 三洋マシン(株) 桑島 文展 氏 ◇講演会 「強い企業はへこたれない!ー今を生き抜く中小企業経営の知恵」 出版記念講演会 ヤサカ経営 合田 正恒 氏 「関東経済産業局次世代自動車プロジェクト」 関東経済産業局地域振興課長
H23.2.2	埼玉会館	第3回例会 「争族にならない相続と税」 税理士 柳澤 博 氏
H23.2.25 ~ 2.26	愛知県	第3回研修会 デンソーギャラリー、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館見学

5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成20年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事：田端 克雄((有)フィールド・サイド 代表)

会 員 数：10名

年月日	開催場所	内 容
H22.4.16	創作市場	◇第1回例会 ・(有)創作舎工房見学 ・創作市場の概要説明 (有)創作舎 顧問 大野 修 氏 ・埼北ネット役員の選任 ・情報交換

年月日	開催場所	内容
H22.5.25	(株)有田ユニテム	◇第2回例会 ・(株)まるおか会社概要説明 (株)まるおか 代表取締役 丸岡 章 氏 ・(株)有田ユニテム会社概要説明 (株)有田ユニテム 代表取締役 丸岡 章二 氏 ・(株)まるおか工場見学 ・(株)有田ユニテム工場見学
H22.6.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・情報交換
H22.7.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第4回例会 ・情報提供「プラスチックの話」 産業技術総合センター北部研究所 所長 齊藤 弘美 ・情報交換
H22.8.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・情報提供「経営後継者研修に参加して」 賛光精機(株) 清水 規正 氏 ・情報交換
H22.9.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第6回例会 ・情報交換
H22.10.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第7回例会 ・嶋崎氏の近況報告 ～講習会「レアメタルについて」など～ 埼玉北ネット会計幹事 嶋崎 健三 氏 ・次年度以降の埼玉北ネットの運営について ・情報交換
H22.11.11	東京国際展示場	◇第8回例会 ・産業交流展 2010 の視察
H22.12.9	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・情報提供「はやぶさ、航空機産業等について」 埼玉北ネット助言者 清水 保夫 氏 ・情報提供「寄居町地域活性化シンポジウムについて」 埼玉北ネット代表 (有)フィールド・サイド 田端 克雄 氏 ・情報交換
H23.1.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第10回例会 ・情報提供「ツイッターやフラッシュマーケティングについて」 産業技術総合センター北部研究所 技師 岩崎 正太 ・次年度以降の埼玉北ネットの運営について ・情報交換
H23.2.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・ものづくり講演会「切り開け、ものづくり日本」～中小企業は日本の まごころ、世界の宝～ 政策研究大学院大学 教授 橋本 久義 氏 ・情報交換
H23.3.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第12回例会 ・情報交換 ・来年度の埼玉北ネット運営について ・北部研究所の新しい試験機器(精密測定、材料試験関係)の見学

5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

食品関係の技術開発や経営管理等の講演会への参加、各県アンテナショップへの視察等、活発な交流活動を実施した。北部研究所が本グループの事務局を担当しており、会員は16名である。

代表幹事： 笹木 弘治(笹木醤油(株) 代表取締役社長)

会員数： 16名

年月日	開催場所	内容
H22.5.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H22.6.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会 ◇総会 ・平成21年度事業報告 平成21年度決算報告 ・平成22年度事業計画 平成22年度予算 ・役員選出
H22.7.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇埼玉県産業技術総合センター北部研究所 研究発表会 ①研究発表会 加工関連技術5テーマ、食品・バイオ技術7テーマ ②技術講演会 講演：食品工場の衛生管理について～HACCP導入～ 講師：東海大学 特任教授 小沼 博隆 氏
H22.9.17	東京都	◇都内視察 株式会社桑原ハム
H22.10.20～ 21	岩手県	◇県外視察 株式会社東北佐竹製作所 株式会社岩手ヤクルト工場
H23.2.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇ものづくり講演会 講演：切り開け、ものづくり日本 ～中小企業は日本のまごころ、世界の宝～ 講師：政策研究大学院大学 教授 橋本 久義 氏

5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は12企業である。

代 表： 小菅 一憲 (東洋パーツ株式会社 会長)

参加企業： 13企業

年月日	開催場所	内容
H22.4.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H22.5.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H22.6.25	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H22.7.15	長瀬 長生館	情報交換
H22.10.3～5	今泉工業(株)秋田工場	視察・情報交換
H22.11.10	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H22.12.16	喰処 善	情報交換
H23.2.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.3.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

(1) 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、年間4回の委員会を開催した。主な事業は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー1名の、合計11名で構成する。

平成22年度は委員会を4回開催し、参加者は延べ55名であった。

(役員) 委員長 川口鋳物工業協同組合 技術顧問 山中 昇
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 金属材料・評価担当
川口鋳物工業協同組合 総務課

(2) 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術ならび関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成22年度は、講演会2回、見学会2回を開催し、参加者は、延べ114名であった。

(会員数) 正会員46社、賛助会員4社

(役員) 会長 (株)田口型範 田口 順
副会長 藤田企画 藤田 賢二
〃 (株)ユニテック 斉藤 正洋
〃 (株)チバダイス 千葉 英樹

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 生産技術担当

(3) 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成22年度は講演会を2回、講習会を2回開催し、参加者は延べ242名であった。

(会員数) 60社

(役員) 会長 山方技術士事務所 山方 三郎
副会長 (株)ユニテック 三浦 芳典
〃 (株)オーネックス 渡部 祐一

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 金属材料・評価担当

(4) 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

平成22年度は定例会を12回、講演会を1回開催し、参加者は延べ132名であった。

(会員数) 39名

(役員) 代表 (株)富士ゼロックス総合教育研究所 渡部 義晴

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 金属材料・評価担当

(5) 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。

平成22年度は定例会3回開催し、参加者は延べ72名であった。

(会員数) 39社(正会員33、賛助会員6)

(役員) 会長 (株)折原米菓工場 折原 一嘉

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 生物工学担当

(6) 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 生物工学担当

(6.1) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日：平成22年6月21日

調査試料：冷用酒 32点 720ml 1,000円程度の純米酒またはこれに準ずる酒

参加者：37名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、他)

(6.2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成22年9月24日

出品点数：吟醸酒の部 52点(16場)

純米の部 29点(19場)

参加者：27名(杜氏、酒造担当者)

(6.3) 吟醸酒研究会

平成22酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日：平成22年12月14日

参加者：16名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	松岡醸造(株)	松岡杜氏
	武甲酒造(株)	長谷川杜氏
	(株)矢尾本店	鷹木杜氏
	(株)釜屋	松本杜氏

講演：「吟醸酒の製造について」

講師 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 増田 こそえ

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び横浜市)の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

(1) 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第32回～第34回)

- ① 平成22年5月24日(月) (地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ
- ② 平成22年8月26日(木) 埼玉県産業技術総合センター 交流サロン
- ③ 平成22年11月30日(月) 神奈川県産業技術センター

(2) 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催 1回(第35回)

- ① 平成23年2月18日(金) 東葛テクノプラザ

(3) 研究発表者相互派遣事業

① 発表者派遣

ア) (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成22年6月16日(水)、17日(木)

電子技術・電磁波測定担当	専門研究員	荻野 重人
生産技術担当	主任	南部 洋平
生物工学担当	専門研究員	細井 永次

イ) 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成22年7月29日(木)

研究企画・支援担当	担当部長	高橋 利男
生物工学担当	主任研究員	小島 登貴子

ウ) 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成22年10月13日(水)～15日(金)

生産技術担当	主任	山田 岳大
生物工学担当	主任	富永 達矢

② 発表者受け入れ(SAITEC 研究発表会)

ア) 川口会場(本所):平成 22 年 7 月 5 日(月)、6 日(火)

東京都 2 名

神奈川県 3 名

千葉県 2 名

イ) 熊谷会場(北部研究所):平成 22 年 7 月 14 日(水)

東京都 1 名

(4) 産業交流展 2010 への参加

① 期日:平成 22 年 11 月 10 日(水)~12 日(金)

② 場所:東京国際展示場

(5) テクニカルショー ヨコハマ 2011 への出展

① 期日:平成 23 年 2 月 2 日(水)~4 日(金)

② 場所:パシフィコ横浜

(6) パートナー・グループ事業

① 微細加工分科会の実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H23.2.1	埼玉県産業技術総合センター	生産技術担当 増田 伸二 出口 貴久 南部 洋平 落合 一裕

② 熱処理・表面処理パートナーグループの実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H22.4.26	(地独)東京都立産業技術研究センター 西が丘本部	金属材料・評価担当 進藤 久宜
H22.9.13	神奈川県産業技術センター	金属材料・評価担当 進藤 久宜
H22.12.6	(地独)東京都立産業技術研究センター 西が丘本部	試験研究室副室長 北村 英三 金属材料・評価担当 大川 薫 進藤 久宜

③ デザインパートナーグループの実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H23.2.9	(地独)東京都立産業技術研究センター 西が丘本部	技術革新支援室 影山 和則 町田 芳明 増子 陽一

④ IT・情報パートナーグループの実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H23.1.28	(地独)東京都立産業技術研究センター 城南支所	企画・総務室 伊藤 幸希

⑤ バイオパートナーグループの実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H22.10.20	(地独)東京都立産業技術研究センター 駒沢支所	生物学担当 富永 達矢

(7) その他への発表(他県での研究発表会等)

本所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H22.6.16	オンサイト型超微小硬さ測定機の開発	電子技術・電磁波測定担当 荻野 重人	平成 22 年度 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究発表会	平成 22 年度 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究発表会要旨集
H22.6.16	ガスタービン用ノズルの微細深穴加工	生産技術担当 南部 洋平	平成 22 年度 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究発表会	平成 22 年度 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究発表会要旨集
H22.7.29	ものづくりアカデミー事業の紹介	企画・総務室 高橋 利男	平成 22 年度千葉 県産業支援技術 研究所研究発表 会	千葉県産業支援 技術研究所 研究発表会予稿集
H22.10.13	高機能樹脂成形技術の開発ー ー 高圧二酸化炭素による溶 着法の検討ー	生産技術担当 山田 岳大	平成 22 年度 神奈 川県産業技術セン ターものづくり技術 交流会	平成 22 年度 神奈 川県産業技術セン ターものづくり技術 交流会要旨集

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H22.6.17	抗菌剤の簡易評価法の開発	生物学担当 細井 永次	平成 22 年度(地 独)東京都立産業 技術研究センター 研究発表会	平成 22 年度(地独) 東京都立産業技術 研究センター研究発 表会要旨集
H22.7.29	埼玉県産小麦の色調改善技術の 開発	生物学担当 小島 登貴子	平成 22 年度千葉 県産業支援技術 研究所研究発表 会	平成 22 年度(地独) 東京都立産業技術 研究センター研究発 表会要旨集
H22.10.14	細菌構成相解析によるサニタリ ーシステムの開発	生物学担当 富永 達矢	平成 22 年度神奈 川県産業技術研 究所研究発表会	平成 22 年度神奈 川県産業技術研 究所研究発表会 要旨

5.4 講演会等講師派遣

本所

年月日	名称	会場	主催者・内容	講師
H22.5.6～27	Excel 研修(全7回)	埼玉県産業技術総合センター	主催:川口鋳物工業協同組合	菊池 和尚 島崎 景正 原田 雅典 信本 康男 鈴木 昌資 地形 祐司 新里 浩司 稲本 将史 白石 知久
H22.5.21	日本鑄造工学会第156回全国講演大会 技術講習会	近畿大学 11月ホール	鑄鉄品の欠陥事例—埼玉県産業技術総合センターにおける相談事例から—	永井 寛
H22.5.31	第5回横浜・難削材(チタン等)切削技術開発研究会	横浜市産学協同研究センター	財団法人 横浜企業経営支援財団	南部 洋平
H22.6.21	第6回横浜・難削材(チタン等)切削技術開発研究会	埼玉県産業技術総合センター	財団法人 横浜企業経営支援財団	出口 貴久 南部 洋平 落合 一裕
H22.6.23～24	第6回鑄鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催:日本鑄造工学会	永井 寛
H22.7.22	新技術説明会(シーズ発表会)(独)JST イノベーションサテライト茨城	茨城県産業会館	JST イノベーションサテライト茨城 茨城県経営者協会	山田 岳大
H22.11.9,10	第7回鑄鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催:日本鑄造工学会 共催:日本鋳物協会 共賛:日本非破壊検査工業会	永井 寛
H22.11.11	第4回ものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	埼玉県ものづくり研究会、埼玉県産業技術総合センター	宇野 彰一
H22.11.17	かわさきサイエンス&テクノロジーフォーラム2010	かながわサイエンスパーク	主催:川崎市	棚橋 綱男

北部研究所

年月日	名称	会場	内容	講師
H22.4.2～ H22.5.7	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	さけ造り実習	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H22.5.12,19	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	微生物実習	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H22.7.13	醸造調味食品セミナー	日本醸造協会	細菌構成相解析によるサンタリーシステム	富永 達矢
H22.9.10	AACC 日本支部講演会	日本パン技術研究所	埼玉県産小麦麵の活用に向けて～ゆで麵の食感評価法と色調保持技術の検討～	小島 登貴子
H22.9.15	関東東海北陸農業試験研究推進会議流通加工部会	メルパルク長野	埼玉県産の小麦の活用に向けて～ゆで麵の食感評価法と色調保持技術の検討～	小島 登貴子
H22.10.27	川越農林振興センター農業支援関係	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	米粉麵について	常見 崇史
H22.12.1	埼玉県漬物協同組合研修会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	商品開発事例とパッケージデザイン	竹内 了 高橋 広子

年月日	名称	会場	内容	講師
H22.12.1	酒造講話会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	新品種米「彩のみのり」による清酒製造試験 新酵母について(野生酵母) 火入れについて	横堀 正敏 増田 こずえ
H23.1.21	入間市繊維工業会新春講演会	所沢織物商工協同組合	商品企画について	高橋 広子
H23.2.9	授産製品改良・開発研修会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	埼玉県社会就労センター協議会 加盟施設職員対象の製品改良・ 販売促進指導	竹内 了 高橋 広子 小島 登貴子

5.5 審査会等への派遣

本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H22.6.20	技能検定(鋳鉄鋳物鑄造作業)	永井機械鑄造(株)	菊池 和尚
H22.6.25	平成 22 年度草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	草加市役所	小林 孝司
H22.7.28	川口 i-mono ブランド認定協議会	川口商工会議所	石橋 健司
H22.8.29	技能検定実技試験(熱処理)	オリエンタルエンジニアリング(株)	笹川 俊夫
H22.9.24	彩の国技能者表彰審査会	埼玉県庁	石橋 健司
H22.10.19	「彩の国優良ブランド品」推奨審査会	大宮合同庁舎	北村 英三
H22.10.30	平成 22 年度埼玉県児童・生徒発明創意くふう展審査会	新都心ビジネス交流プラザ	白山 琢持
H22.12.2	第6回渋沢栄一ベンチャードリーム賞 2 次審査会	新都心ビジネス交流プラザ	荒木 純一
H22.12.6	川口 i-mono ブランド認定協議会	川口センタービル	石橋 健司
H23.1.18	草加ものづくりブランド認定部会	草加商工会議所会館	小林 孝司
H23.1.25	八潮市優良技術者及び技能者選定に係る評価会	八潮市商工会館	北村 英三
H23.1.30	技能検定実技試験(金属材料試験)	オリエンタルエンジニアリング(株)	篠崎 誠
H23.1.31	「卓越した技能者表彰」被表彰候補者審査会	埼玉県庁	石橋 健司
H23.2.18	和光理研インキュベーションプラザに配置するインキュベーションマネージャーの審査	和光理研インキュベーションプラザ	石橋 健司

北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H22.5.25~26	平成 22 酒造年度全国新酒鑑評会	(独)酒類総合研究所	横堀 正敏
H22.5.28	第 45 回熊谷捺染作品競技会	熊谷市立商工会館	齊藤 弘美 高柳 博通 高橋 広子
H22.6.18	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	増田 こずえ 横堀 正敏
H22.6.23	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑み切り会	小川町民会館	横堀 正敏
H22.7.13	市販酒出荷管理研究会	藤崎摠兵衛商店	増田 こずえ
H22.7.28	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部合同初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H22.8.6	高校生ものづくりコンテスト・埼玉大会	久喜工業高校	村田 一英 小島登貴子
H22.8.10	高校生ものづくりコンテスト・関東大会	久喜工業高校	村田一英 小島 登貴子
H22.10.5	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	横堀 正敏 南澤 賢
H22.10.7~8	関東信越国税局酒類鑑評会品質評価一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H22.10.13	関東信越国税局酒類鑑評会品質評価二審	関東信越国税局	増田 こずえ
H23.1.19	埼玉県ふるさと認証食品「味噌」官能審査会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	村田 一英 増田 こずえ

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H23.2.18	第40回埼玉県観光土産品審査会	大宮ソニックシティ	齊藤 弘美
H23.3.2～3	全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	横堀 正敏
H23.3.5	埼玉県酒造組合西部ブロック持寄りきき酒会	小川町民会館	横堀 正敏
H23.3.7	埼玉県酒造組合中部ブロック新酒研究会	(株)文楽	増田 こずえ 横堀 正敏
H23.3.8	埼玉県酒造組合北部ブロック新酒持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 一北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H23.3.15	茨城県新酒鑑評会	茨城県工業技術センター	増田 こずえ
H23.3.15	食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査棟	村田 一英
H23.3.16	新潟県酒造従業員組合清酒品評会	群馬県清酒品評会	横堀 正敏

5.6 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容	件数
彩の国産業技術大賞	産業支援課	現地調査及び審査会	14
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	3
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会	4
川口新製品等開発振興奨励制度	(財)川口産業振興公社	川口新製品等開発振興奨励審査会	13
次世代産業参入支援事業費補助金	新産業育成課	技術内容の審査	72
埼玉県環境対応ビジネス研究開発事業費補助金	新産業育成課	審査会	2
合計：6事業			108

5.7 会議等への参加

本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H22.4.14	第3回「埼玉県次世代自動車関連イノベーション創出協議会」設立準備会	ラフレさいたま	荒木 純一
H22.4.15	埼玉県経営合理化協会通常総会	パレスホテル大宮	荒木 純一 石橋 健司
H22.4.21	埼玉産業人クラブ定時総会	浦和ロイヤルパインズホテル	荒木 純一 新井 尚機
H22.4.24	E-kizuna サミット・フォーラム	ホテルブリランテ武蔵野	原田 勝利
H22.4.26	第1回E-KIZUNA サミット・フォーラム in さいたま	ホテルブリランテ武蔵野	荒木 純一
H22.4.29	川口鋳物工業企業研究会創立 50 周年記念式典	帝国ホテル	荒木 純一
H22.5.11	ステンレス鋼板研磨研究会	(有)中村金属工業	出口 貴久
H22.5.13	埼玉県経営者協会定期総会	パレスホテル大宮	荒木 純一
H22.5.14	電気学会見学会	ボッシュ(株)東松山工場	能戸 崇行
H22.5.17	戸田市産業推進交流会	戸田市商工会	原田 勝利
H22.5.18	コラボ産学官埼玉支部通常総会	浦和ロイヤルパインズホテル	荒木 純一
H22.5.19	平成22年度川口商工会議所「会員大会」	川口総合文化センターリア	石橋 健司 棚橋 綱男 新井 尚機
H22.5.20	埼玉県中小企業振興公社第1回評議委員会	大宮ソニックシティ	石橋 健司
H22.5.21	川越地域中核人材育成推進協議会通常総会	ラ・ボラ・アクテ	新井 尚機
H22.5.21	電気学会見学会	北斗サイト	能戸 崇行
H22.5.21	第3回発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	埼玉県産業技術総合センター	山田 岳大
H22.5.24	電気学会東京支部委員会	大宮東友クラブ	能戸 崇行
H22.5.25	(社)埼玉県川口中小企業技術者研修センター定期総会	川口機械工業協同組合	棚橋 綱男
H22.5.25	プラスチック成形加工学会第103回企画委員会	(株)東芝 東芝科学館	山田 岳大
H22.5.26	埼玉県鍍金工業組合通常総会	パレスホテル大宮	荒木 純一 石橋 健司
H22.5.27	第1回(財)川口産業振興公社評議委員会	川口総合文化センターリア	石橋 健司
H22.5.27	戦略的基盤技術高度化支援事業研究推進委員会	(独)理化学研究所	南部 洋平
H22.6.2	東日本FRP工業会総会	ホテルブリランテ武蔵野	石橋 健司
H22.6.3	次世代自動車産学官連携会議設立準備会	ラフレさいたま	荒木 純一
H22.6.3	VCAD システム研究会	ホテルメトロポリタン	永井 寛 小熊 広之
H22.6.4	電気学会東京支部委員会	電気学会事務局	能戸 崇行
H22.6.10	電気学会埼玉支所見学会打合せ	秩父鉄道(株)	能戸 崇行
H22.6.10~11	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第17回表面技術分科会	ホテルルイズ盛岡	清水 宏一
H22.6.13	新加工専門委員会第30回委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.6.15	川口機械工業協同組合「第1回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.6.17	平成22年度第1回埼玉オプトビレッジ構想推進事務局会議	新都心ビジネス交流プラザ	新井 尚機
H22.6.18	埼玉県プラスチック振興会定期総会	さいたま市民会館うらわ	石橋 健司 山田 岳大
H22.6.29	日本マグネシウム協会分極電位分科会	日本アルミニウム協会	出口 貴久
H22.6.29	ものづくり分野の人材育成・確保事業検討委員会	(株)さいたまソフトウェアセンター	戸枝 保 本多 春樹
H22.7.9	「埼玉県次世代自動車関連環境技術イノベーション創出センター」設置記念フォーラム	ホテルブリランテ武蔵野	荒木 純一 石橋 健司
H22.7.15	ものづくり分野の人材育成・確保事業第1回委員会	川口商工会議所	石橋 健司
H22.7.20	川口機械工業協同組合「第2回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H22.7.20	ものづくり分野の人材育成・確保事業検討委員会	(株)さいたまソフトウェアセンター	戸枝 保 本多 春樹
H22.7.23	プラスチック成形加工学会 第 104 回企画委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.7.26	電気学会委員会	大宮東友クラブ	能戸 崇行
H22.8.11	川口鋳物の日	川口駅前市民ホール	荒木 純一
H22.8.17	川口機械工業協同組合「第 3 回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.8.24	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H22.9.1	第1回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト委員会	新都心ビジネス交流プラザ	宇野 彰一 南部 洋平
H22.9.2	TKF 熱処理・表面処理パートナーグループ会議	神奈川県産業技術センター	進藤 久宜
H22.9.17	電気学会見学会	秩父鉄道(株)	能戸 崇行
H22.9.17	プラスチック成形加工学会第 22 回年次大会 第一回実行委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.9.21	川口機械工業協同組合「第 4 回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.9.27	ものづくり企業経営革新in川口	川口商工会議所	石橋 健司
H22.9.28	電気学会埼玉支所委員会	東友クラブ	能戸 崇行
H22.9.28	ものづくり分野の人材育成・確保事業検討委員会	(株)さいたまソフトウェアセンター	戸枝 保 本多 春樹
H22.10.5	プラスチック成形加工学会 第 105 回企画委員会	三井化学(株)汐留本社	山田 岳大
H22.10.19	川口機械工業協同組合「第 5 回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.10.20~22	産業技術連携推進会議 平成 22 年度知的基盤部会計測分科会、形状計測研究会	ファッションコミュニティセンター(浜松商工会議所内)	宇野 彰一 信本 康男
H22.10.20	埼玉県中小企業振興公社第 2 回評議委員会	(財)埼玉県中小企業振興公社	石橋 健司
H22.11.4~5	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 第 15 回電磁環境分科会および第 20 回 EMC 研究会	秋田県産業技術総合研究センター	宗形 隆史
H22.11.15	知的財産権制度説明会(実務者向け)	ゆうぼうと ゆうぼうとホール	細野 光広
H22.11.16	川口機械工業協同組合「第 6 回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.11.18	関東甲信越静地域産業技術連携推進会議	産業サポートスクエア・TAMA	小ノ澤 克彦
H22.11.18	プラスチック成形加工学会 第 106 回企画委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.11.24	平成 22 年度第 2 回埼玉オプトビレッジ構想推進事務局会議	新都心ビジネス交流プラザ	小林 孝司
H22.11.25	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地方部会 担当者会議	(独)産業技術総合研究所 秋葉原ダイビル	細野 光広
H22.11.26	元気な企業づくり交流会	大宮ラフォーレ清水園	石橋 健司
H22.11.26	「次世代自動車産学官連携会議in埼玉」設立準備会	さいたま新都心合同庁舎	小谷野 雅明
H22.12.1	彩の国知的立県づくり懇談会	埼玉県庁	石橋 健司
H22.12.3	知的財産権制度説明会(実務者向け)	ゆうぼうと ゆうぼうとホール	細野 光広
H22.12.4	第 3 回発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館	山田 岳大
H22.12.7	電気学会ハイブリッド車分解展示見学会	埼玉県産業技術総合センター	能戸 崇行
H22.12.14	プラスチック成形加工学会第 22 回年次大会 第二回実行委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.12.14	地域イノベーション創出共同体形成事業 広域 関東圏合同成果発表会	(独)産業技術総合研究所 秋葉原ダイビル	細野 光広 鈴木 昌資
H22.12.16	電気学会講演会打合せ	埼玉工業大学	能戸 崇行
H22.12.16	新加工専門委員会第 32 回専門委員会	東京工業大学	山田 岳大
H22.12.17	知的財産シンポジウム 2010	東商ホール	細野 光広
H22.12.21	電気学会第 2 回システム技術講演会	電力中央研究所 狛江地区	能戸 崇行

年月日	会議名	会場	出席者
H23.1.7	日本マグネシウム協会分極電位分科会	日本アルミニウム協会	出口 貴久
H23.1.13	プラスチック成形加工学会 第 107 回企画委員会	東京工業大学	山田 岳大
H23.1.19	川口機械工業協同組合「第 7 回総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H23.1.20	「次世代自動車産学官連携会議in埼玉」設立準備会	さいたま新都心合同庁舎	棚橋 綱男
H23.1.24	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H23.1.26	国際特許流通セミナー2011	ホテル日航東京	細野 光広
H23.1.27	埼玉県ビジネス懇談会	さいたまスーパーアリーナ	荒木 純一 南部 洋平
H23.2.2	埼玉県創業・ベンチャー支援センターアドバイザーチーム設置業務に係る選定委員会	新都心ビジネス交流プラザ	荒木 純一
H23.2.4	第 10 回JIPAシンポジウム	東京国際フォーラムホール C	細野 光広
H23.2.5	品質工学地方研究会 4 県合同研究会	山梨県甲州市	井上 裕之 原田 雅典
H23.2.8	第6回渋沢栄一ベンチャードリーム賞表彰式	大宮ソニックシティ	荒木 純一
H23.2.10	プラスチック成形加工学会第 22 回年次大会 第三回実行委員会 プログラム編成委員会	五反田文化会館	山田 岳大
H23.2.14	第 2 回川口産業振興公社評議員会	川口総合文化センターリア	石橋 健司
H23.2.15	彩の国工場振興会協議会総会	ホテルプリランテ武蔵野	荒木 純一
H23.2.18	第 4 回 TKF フォーラム	東葛テクノプラザ	原田 勝利 戸枝 保 新里 浩司 他
H23.2.22	平成 22 年度工業高校実践型人材育成プロジェクト第 2 回実行委員会	川口商工会議所	石橋 健司
H23.2.28	産業技術連絡推進会議総会	アルカディア市ヶ谷	北村 英三
H23.3.1	東京電機大学産学連携交流会	東京電機大学 神田キャンパス	原田 勝利
H23.3.1	新加工専門委員会第 33 回専門委員会	東京大学	山田 岳大
H23.3.2	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H23.3.7	埼玉県中小企業振興公社第 3 回評議員会	マロウドイン大宮	石橋 健司
H23.3.18	第 3 回川口産業振興公社評議員会	川口総合文化センターリア	石橋 健司
H23.3.29	プラスチック成形加工学会 第 108 回企画委員会	積水化学工業(株)京都研究所内	山田 岳大
H23.3.30	地球温暖化対策の検討に関する専門委員会	知事公館	荒木 純一

北部研究所

年月日	会議名	会場	出席者
H22.4.27	関東・東北地域繊維分科会総会	ニューミヤコホテル足利	斎藤 正樹
H22.5.13	第 40 回埼玉県漬物協同組合総会	埼玉グランドホテル深谷	齊藤 弘美
H22.5.18	第 57 回埼玉県酒造組合通常総会	伊香保・岸権旅館	齊藤 弘美
H22.5.20	埼玉県吟友会・H21 年度通常総会	浅草ビスタホテル	横堀 正敏
H22.5.24	第 63 回埼玉醤油工業協同組合通常総会	ホテルガーデンパレス	齊藤 弘美
H22.5.28	第 61 回埼玉県生麺業協同組合通常総会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H22.6.3~4	産業技術連絡推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会総会	今治地域地場産業振興センター	齊藤 弘美
H22.6.17	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2010 年度第 1 回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H22.6.18	熊谷工場懇話会・第 40 回通常総会	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美
H22.6.22	埼玉県食品工業会・第 46 回通常総会	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美
H22.6.22	埼玉県食料産業クラスター協議会及び地域農工商等連携促進対策企画運営会議	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美 村田 一英
H22.6.25	埼玉県酒造業感謝状贈呈式	知事公館	齊藤 弘美

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H22.6.29	埼玉仮想工業団地通常総会	早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター	齋藤 正樹
H22.6.29	「FIND Chichibu」総会	秩父地域地場産業振興センター	持田 紀久雄
H22.7.29～30	関東甲信越地区食品醸造研究会	山梨県工業技術センター	増田 こずえ
H22.8.19	埼玉・圏央エリア地域イノベーションクラスタープログラム第1回共同研究推進委員会・拡大会議	新都心ビジネス交流プラザ	富永 達矢
H22.8.20	彩の国小麦ネットワーク発足式	埼玉会館	仲島 日出男 小島 登貴子 海野 まりえ
H22.8.27	埼玉県酒造協同組合第41回通常総会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	齊藤 弘美
H22.9.9	熊谷市酒米栽培研究会第2次現地検討会	中条・奈良支部管内圃場	増田 こずえ
H22.9.15～16	関東東海北陸農業試験研究推進会議 流通加工部会	メルパルク長野	小島 登貴子
H22.9.27	在来大豆商品開発推進協議会	秩父農林振興センター	村田 一英
H22.10.14	第55回全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎	増田 こずえ
H22.10.20～22	産業技術連絡推進会議 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会総会	ファッションコミュニティーセンター(浜松商工会議所内)	大木 健司
H22.10.22	産業技術連絡推進会議 繊維分科会 関東・東北地域連絡会 繊維測定技術研究会	群馬県繊維工業試験場	清水 英明
H22.11.5	第81回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	さいたま新都心合同庁舎	齊藤 弘美
H22.11.5	産業技術連絡推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産技術研究会	新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター	高柳 博通
H22.11.24～26	産業技術連絡推進会議 知的基盤部会 分析分科会年会	メルパルク岡山	鈴木 理博
H22.12.1～H23.2.23	高齢者医療福祉イノベーション塾 (5回)	大宮ソニックシティ 新都心ビジネス交流プラザ 埼玉県立大学	竹内 了
H22.12.14	FIND Chichibu 中間報告会	秩父地域地場産業振興センター	持田 紀久雄
H23.1.5	熊谷捺染組合新年総会	熊谷レストランアーク	齊藤 弘美
H23.1.6	埼玉県酒造組合・全員協議会	キングアンバサダーホテル	齊藤 弘美
H23.1.11	所沢織物商工協同組合賀詞交換会	ヘリテージ・リゾーツ飯能	持田 紀久雄
H23.1.20	埼玉醤油工業協同組合新年会	ホテルガーデンパレス	齊藤 弘美
H23.1.21	埼玉県生麺業協同組合新年会	大宮サンパレス	齊藤 弘美
H23.2.2～3	産業技術連絡推進会議第43回関東甲信越静地域部会 食品・バイオ分科会	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	村田 一英 仲島 日出男 樋口 誠一
H23.2.2	関東東海北陸農業試験研究推進会議流通加工部会	(独)産業技術総合研究所	小島 登貴子
H23.2.3	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2010年度第3回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H23.2.3	平成22年度「いつでもどこでも埼玉産」地産地消推進協議会食品産業部会	スーパーアリーナ	村田一英
H23.2.17	埼玉県漬物協同組合新年会・研修会	埼玉グランドホテル深谷	村田一英
H23.2.22	異業種交流大会	東天紅JACK大宮店	持田 紀久雄
H23.2.24～25	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	齊藤 弘美
H23.3.10	在来大豆商品開発推進協議会	秩父農林振興センター	村田 一英
H23.3.28	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2010年度第4回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 研究報告

研究報告 第8巻(平成22年度)	平成22年7月発行	1,000部(うちCD-R 300枚)
テクレポート Vol.7	平成22年10月発行	1,300部

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

平成21年度 業務報告	平成22年8月発行	1,000部
-------------	-----------	--------

6.2.2 技術情報誌の発行

当センターで行っている研究概要等の技術情報を掲載した技術情報誌「テクニカルメディア」を発行した。

テクニカルメディア No.69	平成22年8月発行	3,500部
-----------------	-----------	--------

テクニカルメディア No.70	平成23年2月発行	3,500部
-----------------	-----------	--------

<配布対象> 商工会議所・商工会、組合、都道府県公設試験場、大学、企業等

6.2.3 その他の印刷物の発行

機器開放・依頼試験料金表	平成22年4月発行	3,000部
開放機器利用案内	平成22年9月発行	2,500部

6.2.4 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・ 平成15年度～平成21年度研究報告
- ・ 依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程、開放機器データベース
- ・ 試験データベース
- ・ 技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・ 貸し会議室、貸し研究室
- ・ 研修会、講演会等の開催案内
- ・ 企業データベース

(2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 29件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には709件の問い合わせがあった。

6.2.5 記者発表

年月日	タイトル
H22.4.8	自動車産業中小企業向け ハイブリッド車分解・部品関連技術開発支援事業スタート
H22.6.4	平成22年度 SAITEC 研究発表会
H22.7.22	貸研究室入居者募集
H22.8.19	SAITEC 技術セミナーの開催について ―バイオとナノの最前線を探る―
H22.8.26	次世代自動車関連技術開発をめざす「埼玉県次世代自動車研究会」活動開始
H22.10.21	第7回埼玉北部地域技術交流会を開催します
H23.1.27	SAITEC 技術セミナーの開催について―レアメタルクライシス回避への試み―

6.2.6 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H22.4.9	日本経済新聞	ハイブリッド車関連産業 中小の参入支援 県産業技術センター
H22.4.13	日刊工業新聞	HV 分解し部品公開 次世代自動車分野 中小の参入促す 埼玉県産技センター
H22.5.12	埼玉新聞	ハイブリッド車を分解して展示
H22.5.26	毎日新聞	内覧会に応募殺到 県が中小企業向け「ハイブリッド車分解展示」
H22.7.3	埼玉新聞	SAITEC 研究発表会
H22.7.30	日本経済新聞	プリウス分解・展示
H22.8.21	埼玉新聞	県産業技術総合センターが技術セミナー
H22.8.26	日本経済新聞	SAITEC 技術セミナー～バイオとナノの最前線を探る
H22.8.31	日刊工業新聞	プリウスとインサイト あすから分解展示会
H22.9.1	交通毎日新聞	SAITEC 埼玉に次世代車研究会
H22.9.2	日経産業新聞	物材機構などセミナー
H22.9.9	日刊工業新聞	ナノテクで技術セミ
H23.2.11	日本経済新聞	SAITEC 技術セミナー～レアメタルクライシス回避への試み
H23.2.23	埼玉新聞	レアメタルクライシス回避セミナー (SAITEC 技術セミナー)
H23.3.8	朝日新聞	サイテック技術セミナー
H23.3.9	日刊工業新聞	レアメタル関連セミ

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H22.4.21	テレビ埼玉		HV 分解し部品公開について
H22.4.22	テレビ埼玉		HV車分解部品展示で中小企業を支援
H22.6.10	NHK テレビ		NHK テレビ あさいチ「昼ごはん革命」！夏のぶっかけ麺
H22.7.5	テレビ埼玉		SAITEC 研究発表会
H22.7.6	Nack5	モーニングスクエア	夏休み体験教室
H22.7.10	テレビ埼玉	週刊彩の国ニュース	SAITEC 研究発表会
H22.8.4	FM Nack5	モーニングスクエア	夏休み体験教室

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H22.4.12	日経ものづくりニュース	埼玉県産業技術総合センター、ハイブリッド車を分解展示
H22.4.12	Tech On!	埼玉県産業技術総合センター、ハイブリッド車を分解展示
H22.5.10	週刊アスキー	未来型バッテリーのすべて～マグネシウム二次電池
H22.6.20	日経 Automotive Technology 2010年7月号	埼玉県のハイブリッド車分解事業
H22.7.30	農業及び園芸	埼玉県内植物資源由来のポリフェノール類の検索及び利用
H22.9.1	あんしん Life 9月号	ハイブリッド車を分解展示し、事業者の技術開発をサポート
H22.12.17	食品の試験と研究	県産小麦麺の色調保持技術の開発

6.2.7 SAITEC 出前技術講座

県内企業のグループや商工団体等に、センターで実施している技術支援事業や研究成果を分かりやすく説明する出前技術講座を実施した。

実施日	対 象	内 容	人数
H22.11.27	加須市加須こども会連絡協議会	磁石 モーターを作ろう 紙飛行機を飛ばそう	50
H22.12.15	ふじみ野市商工会	平成21年度産業技術総合センター研究成果概要 について	20
合計 2 回			70

6.2.8 見学者

本 所

見学者数	(団体)	(人)
企業・商工団体	5	104
行政視察	2	6
一 般	1	7

6.2.9 県内企業への企業訪問 PR

センターの支援業務について、本所及び北部研究所の地理的関連を含め、センターのPRを行った。

目 的：センターの今後の方向性を定める基礎資料とするとともに、センターのPRを行うこと。

期 間：平成22年4月～平成23年3月

訪問企業数 731 社

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室、ステージアップ室4室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室(平成23年3月末現在)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	
2	(株)T.M.L	本庄市	食品加工	
3	(株)バーテックス	東京都港区	筆記具の開発	
4	コージンバイオ(株)	坂戸市	バイオ産業	
5	イネイブル(株)	川口市	光学機器	
6	(株)エプセル	川口市	産業機器	
7	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
8	(株)エヌビー健康研究所	川口市	バイオ産業	2室利用
9	アルスロデザイン(株)	川口市	医療機器	
10	真韻(株)	川口市	産業機器	
11	ライトロン(株)	さいたま市	光学機器	
12	エムテック化学(株)	さいたま市	工業製品	
13	ヒラソルバイオ(株)	さいたま市	バイオ産業	
14	(株)ハーベス	さいたま市	化学工業製品	
15	(株)ニック	富士見市	産業機器	
16	(株)ドクターK	川口市	産業機器	
17	(株)サントタイプ	さいたま市	印刷材料	
18	フルイドウェアテクノロジーズ(株)	川口市	流体チップ製品	

※ この他2室を(財)埼玉県中小企業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

(2) ステージアップ室(平成23年3月末現在)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	(株)オプセル	さいたま市	光学機器	2室利用

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	16企業	162件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	12企業	293件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	4企業	25件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	9企業	84件
5	試作加工室の提供	6企業	112件
6	起業化支援セミナーの開催(2回) 第1回(H22.10.21)テーマ:「中国市場への事業展開と留意点」 第2回(H23. 2.22)テーマ:「日本政策金融公庫 国民生活事業 の融資制度について」		

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

本 所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H23.4.19～H23.3.31	埼玉大学	1	11	金属材料・評価担当 進藤 久宜
		1	1	
		1	11	
H22.4.21	製造業	1	1	金属材料・評価担当 永野 正明
H22.5.31～H22.8.31	早稲田大学	1	6	環境・分析担当 佐野 勝
		1	6	
H22.6.1～H23.3.31	埼玉大学	1	8	生産技術担当 南部 洋平
H22.6.21～H23.3.31	製造業	1	5	生産技術担当 関根 正裕
		1	5	
		1	55	
H22.8.23～H22.9.10	東洋大学	1	15	環境・分析担当 熊谷 知哉
H22.9.1～H22.10.31	製造業	1	5	生産技術担当 関根 正裕
H22.9.21～H23.3.31	製造業	1	5	生産技術担当 関根 正裕
H22.10.27～H23.3.31	製造業	1	5	生産技術担当 山田 岳大
H23.1.5～H23.1.11	武蔵野美術大学	1	3	技術革新支援室 町田 芳明
H23.1.12～H23.1.25	埼玉大学	1	3	技術革新支援室 白石 知久
H23.1.24～H23.3.31	製造業	1	5	生産技術担当 関根 正裕
		1	5	
		1	5	
		1	5	
H23.1.28～H23.3.31	製造業	1	5	生産技術担当 関根 正裕
本 所 計		21	171	

北部研究所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H22.4.9～H23.3.31	食料品製造業組合	1	148	生物学担当 海野 まりえ
H22.4.9～H23.3.25	個人	1	55	生物学担当 海野 まりえ
H22.4.23～H23.3.15	食料品製造業	1	29	生物学担当 細井 永次
H22.7.15～H23.1.15	食料品製造業	1	6	生物学担当 小島 登貴子
H22.8.4～H22.8.12	女子栄養大学	1	5	生物学担当 小島 登貴子
		1	5	
		1	5	
H22.8.16～H22.8.20	大妻女子大学	1	5	生活関連担当 竹内 了
		1	5	
		1	5	
H22.8.23～H22.9.17	東洋大学	1	15	生物学担当 小島 登貴子 横堀 正敏 仲島 日出男
		1	14	
		1	14	
H22.8.30～H22.9.3	東京家政大学	1	5	生活関連担当 竹内 了
		1	5	
		1	5	
		1	5	
H22.9.7～H22.12.28	食料品製造業	1	6	生物学担当 横堀 正敏
H22.11.16～H22.12.28	食料品製造業	1	4	生物学担当 横堀 正敏
H22.12.16～H23.3.31	衣料品製造業	1	5	生活関連担当 竹内 了
北部研究所 計		20	346	

	受け入れ実績	
本 所	21 名	171 日
北部研究所	20 名	346 日
合 計	41 名	517 日

8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

本 所

期 間	受け入れ機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H22.8.23～H22.9.3	東洋大学工学部	1	金属材料・評価技術全般	生産技術担当

北部研究所

期 間	受け入れ機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H22.8.18～H22.8.31	埼玉工業大学	2	食品分析(小麦の分析)	小島 登貴子

8.1.3 平成 22 年度鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に実施された鑄造カレッジにおける関東地区のインターンシップ事業を企画し、下記概要のとおり実施した。
概要	1. ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 2. 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価
場所	埼玉県産業技術総合センター
期間	平成 23 年 1 月 31 日～2 月 4 日
参加人数	20 名

8.1.4 県立高等技術専門校との連携研修

若年層のものづくりに関する関心を喚起し、次世代を担う技術者を養成するため、高等技術専門校と連携した研修事業を実施した。

実施日	対象	内 容	人数
H22.7.22	川口高等技術専門校 空調システム科	産業技術総合センターの建築付帯設備を見学し、機器・システムについて学習すると共に、管理運営の実際について管理担当職員から説明を受けた。	24
H22.9.15～ H22.10.15	中央高等技術専門校 機械制御システム科	職員(指導員及び講師)を対象に、計 8 回の研修を実施した。専門校が保有する精密測定機を用いて、測定原理や操作方法等の研修を実施した。このほか、機械製図に記載される幾何公差、表面粗さの定義や変遷、評価方法について研修を実施した。	16
H22.11.19	中央高等技術専門校 機械制御システム科	訓練生を対象に、北部研究所施設見学と、実機を使つての研修を行った。 ・ 蛍光 X 線分析装置による金属試料分析実習 ・ 万能材料試験機による鋼材の引っ張り試験実習 ・ 各種硬さ試験の特徴説明と硬さ試験実習 ・ 環境試験機等の施設見学	17
H22.12.10	川口高等技術専門校 ビル管理科	産業技術総合センターの建築付帯設備を見学し、機器・システムについて学習すると共に、管理運営の実際について管理担当職員から説明を受けた。	24
川口高等技術専門校 計			48
中央高等学校専門校 計			33
2 校 合計			81

8.2 技術競技会

8.2.1 第46回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共催で行っており、今年で46回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門17社、球状黒鉛鑄鉄部門14社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	不二工業株式会社	パワン チョンプーラット
埼玉県産業労働部長賞	富和鑄造株式会社	徳重 憲勇
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社辻井製作所	橋本 夏樹
川口市長賞	前澤工業株式会社	新井 崇史
社団法人日本鑄造協会会長賞	富士鑄鉄株式会社	佐々木 力
財団法人素形材センター会長賞	合名会社富岡鑄工場	浦尾 直也
川口機械工業協同組合理事長賞	児玉鑄物株式会社	佐藤 充良
川口木型工業協同組合理事長賞	株式会社大六鑄造	野尻 秀一
川口鑄物技術センター委員長賞	株式会社マスセイ	池田 武士
新日本製鐵株式会社社長賞	株式会社椿本鑄工	星野 仁司

球状黒鉛鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	株式会社永瀬留十郎工場	須藤 茂夫
埼玉県産業労働部長賞	合名会社富岡鑄工場	富岡 昭夫
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社辻井製作所	森 佑司
川口市長賞	株式会社永瀬留十郎工場 櫛引工場	川村 利昭
川口商工会議所会頭賞	不二工業株式会社	根水 修
財団法人川口工業会館理事長賞	株式会社大六鑄造	野崎 朋成
川口鑄物技術センター委員長賞	児玉鑄物株式会社	桜井 次男
埼玉鑄物技能士会会長賞	前澤工業株式会社	舘野 誠
株式会社神戸製鋼所社長賞	株式会社シグマ製作所	佐藤 幸吾
神鋼商事株式会社社長賞	新井産業株式会社	宇野 慎治

8.2.2 平成 22 年度(第 53 回)めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部の 4 つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 8 社、亜鉛めっきの部 9 社、工業用クロムめっきの部 8 社、バレル亜鉛めっきの部 5 社の合計 30 社の参加があり、入賞者は以下のとおりであった。

審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(株)甲斐野テックス 秦 政年	(有)池澤鍍金工業所 佐藤 英夫	川口ハードクロム工業(有)	(有)高松鍍金工業所
埼玉県産業労働部長賞		(有)小林鍍金工業	押尾化学工業(有)	(株)オーク埼玉工場 柏葉 良信	押尾化学工業(有) 黒澤 雅人
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)真工社 チーム野村	吉野電化工業(株)	新硬クローム工業(株)	カツデン(株)
埼玉県中小企業団体中央会長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元	(有)阪本鍍金	吉野電化工業(株)	(株)小林鍍金工業 小林 直樹
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)今井メッキ工業所	(株)サン化学	ダイヤ技研(株) 大友 勝兵	(有)小築鍍金工業所 中島 健二
フジサンケイビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所 澤畑 真樹	(有)今井メッキ工業所	(株)精硬クローム工業 大平 善和	
産業通信社賞			(有)ケーエムケー	(株)ミドリ技研 緑川 健雄	

8.2.3 平成 22 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 23 年 3 月 11 日に北部研究所で実施した。出品点数 104 点(23 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 17 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 4 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

平成 22 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒銘	杜氏名
大瀧酒造(株)	九重桜	菅原 實
武甲酒造(株)	武甲正宗	長谷川 武史
(株)釜屋	力士	松本 幸治
鈴木酒造(株)	万 両	多田 一郎

8.3 未来の科学者養成研修事業

小・中学生を対象に科学技術との出会い・ふしぎ体験をととして科学に対する興味・関心を育てることをねらいとし、児童生徒の夏休み期間中に各種の体験講座計6講座を開催した。参加者は総計で186人であった。

8.3.1 夏休み体験教室

(1) 中学生を対象とした2講座

参加者 計 16人

講座名	日時・場所	参加者
電子回路を作ろう	8月4日(水) 10:00～16:00 本所	9
簡単！コンピュータアニメーションの制作入門	8月19日(木) 13:30～16:30 本所	7

(2) 小学生を対象とした4講座

参加者 計 127人

講座名	日時・場所	参加者
紙飛行機をつくってみよう	8月5日(木) 10:00～11:30 本所	23
磁石の不思議	8月18日(水) 13:30～15:00 本所	77
ねんどでアニメーションをつくろう	8月20日(金) 13:30～16:30 北部研究所	27

(3) 小学校5年生以上と中学生を対象とした4講座 参加者 計 43人

講座名	日時・場所	参加者
野菜のDNAを取り出そう	7月30日(金) 10:00～12:00 北部研究所	21
	7月30日(金) 14:00～16:00 北部研究所	22

8.4 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等のものづくり開発を支援するため、ものづくり商品企画コース、デジタルモデリングコースの2つの研修を開催した。ものづくり商品企画コースでは商品企画、デザイン、マーケティングに関する内容を、デジタルモデリングコースではCAD/CAE/RPや三次元形状取り込みに関する内容を実施し、その技術力の向上を図った。

○ ものづくり商品企画コース

年月日	研修科目名	講師名	修了者数
H22.10.26	ものづくり商品企画入門	武蔵野美術大学 宮島 慎吾 氏	5
H22.11.15	デザイン表現 I (Photoshop 入門)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	4
H22.11.16	デザイン表現 I (Illustrator 入門)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	4
H22.11.29 ～30	デザイン表現 II (Photoshop & Illustrator)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	8
H22.12. 2	デザイン戦略	(株)クルー 馬場 了 氏	4
H23. 2.22	マーケティング販売促進	(有)フィールド・サイド 田端 克雄 氏	3
合計(延べ数)	6 研修		28

○ デジタルモデリングコース

年月日	研修科目名	講師名	修了者数
H22. 6.22	サーフェスモデリング (Rhinceros)	Office Re. 西井 美甫 氏	6
H22. 7.13			5
H22.10.19			4
H22. 8.31	ソリッドモデリング (SolidWorks)	(株)ケイジー・ラボラトリーズ 國岡 保弘 氏	6
H23. 1.20			6
H22. 9.28	3D デジタイジング/ ラピッド・プロトタイピング	技術革新支援室 町田 芳明、白石 知久	1
H22.10.27	サーフェスモデリング応用 (Rhinceros Advance)	Office Re. 西井 美甫 氏	5
H23. 1.18	CAE (ANSYS による構造解析)	サイバネットシステム(株) 宮内 隆太郎 氏	3
合計(延べ数)	5 研修		36

○ 合計

研修コース	研修数	修了者数
ものづくり商品企画コース	6	28
デジタルモデリングコース	5	36
合計(延べ数)	11	64

8.5 科学技術体験学習の実施

8.5.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する3つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成22年8月25日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 9名(浦和第一女子高等学校 1年生)
- (4) 学習内容 ① クロマトグラフによる化学分析
② 情報化社会を支える暗号技術について
③ ユニバーサルデザインについて

8.5.2 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)に採択された埼玉県教育委員会と連携し、県内公立高校数校からの応募者に対し、センター職員が講義及び実習を行った。

- (1) 日 時 平成22年11月13日(土)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 6名(熊谷高校、川口高校、川口東高校、川口北高校 1～2年生)
- (4) 学習内容 「科学技術と産業技術」
～三次元CADとCAE・ハイブリッド自動車の仕組み～

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

本 所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
セミナーFEM 実験室	H22.5.25	サイバネットシステム(株)	増子 陽一
第1回知的財産研修(初級)	H22.6.7～10	(独)工業所有権情報・研修館	木下 俊夫
防火・防災管理者研修	H22.6.15～17	さいたま市防災センター	長島 立人
FA 実践セミナー	H22.6.30	オムロン(株)	石田 聡 半田 隆志
企業の目利きⅡ～生産現場の見方～	H22.7.20～23	中小企業大学校 東京校	白石 知久
金属材料技術者のための実践熱処理技術	H22.7.21～7.23	(独)雇用・能力開発機構 埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	落合 一裕
キャッシュフロー経営と利益・資金計画策定支援	H22.7.26～30	中小企業大学校 東京校	木下 俊夫
企業の目利きⅠ～経営資源の見方と支援～(1)	H22.7.26～30	中小企業大学校 東京校	進藤 久宜
東北大学金属材料研究会 第80回夏期講習会	H22.7.28～30	東北大学 金属材料研究所	菊池 和尚
IT 相談対応能力の強化	H22.8.4～6	中小企業大学校 東京校	内藤 丈資
CFRP セミナー	H22.8.19	江東区産業会館	小熊 広之
自治人材開発センター 特別研修「人づくりセミナー(第2回)」	H22.8.20	川口市民ホール フレンジア	信本 康男
自治人材開発センター 行政課題研究会 基調講演「超高齢社会に挑む自治体施策」	H22.8.27	自治人材開発センター	信本 康男
第7回千葉大学分析セミナー	H22.8.31	千葉大学けやき会館	灘野 朋美 坂本 大輔
EMC 技術セミナー	H22.9.3	(株)エヌエフ回路設計ブロック 埼玉営業所	新里 浩司 宗形 隆史
農林水産知的財産実務者養成ワークショップ	H22.9.9～10、 H22.10.18～19	製粉会館	小口 正浩
金属材料の破断面解析技術とその事例	H22.10.13	(株)日本テクノセンター	秋山 稔
(独)雇用・能力開発機構 埼玉県職業能力開発促進センター・能力開発セミナー 高度職業訓練専門短期課程 フライス盤 実践加工技術	H22.10.18～22	(独)雇用・能力開発機構埼玉センター(埼玉県職業能力開発促進センター) ポリテクセンター埼玉	山田 岳大
現場の硬さ試験	H22.10.19	日本材料試験技術協会	木村 晋利
(独)雇用・能力開発機構 埼玉県職業能力開発促進センター・能力開発セミナー 高度職業訓練専門短期課程 バイト研削 実践技術	H22.10.27～29	(独)雇用・能力開発機構埼玉センター(埼玉県職業能力開発促進センター) ポリテクセンター埼玉	小熊 広之 南部 洋平
中小企業の環境経営の進め方～CO ₂ 削減とEMS 導入～	H22.10.27～29	中小企業大学校 東京校	赤澤 力
射出成形現象工学コース	H22.11.5, 11.11, 11.19, 11.25, 12.2	(財)神奈川科学技術アカデミー	小熊 広之
マシニングセンタ実践加工技術	H22.11.8～12	(独)雇用・能力開発機構埼玉センター	出口 貴久
定性分析標準コース	H22.11.9～12	日本電子株式会社 本社・昭島製作所	秋山 稔

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
ポジショニング EXPO2010 併設特別セミナー「新しい位置決め技術(1)、(2)」	H22.11.10～11	東京都立産業貿易センター浜松町館	荻野 重人
非鉄合金の顕微鏡組織とその活用	H22.11.11	東葛テクノプラザ	篠崎 誠
第2回薄膜太陽電池セミナー	H22.11.15～16	大田区産業プラザ Pio	清水 宏一
中小企業の資源調達戦略	H22.11.24～26	中小企業大学校 東京校	小口 正浩
軽量化材料としての GFRP/CFRP の強度評価と破壊の可視化	H22.11.29	㈱島津製作所 東京支社	小熊 広之
(独)雇用・能力開発機構 埼玉県職業能力開発促進センター・能力開発セミナー 高度職業訓練専門短期課程 マシニングセンター実践加工技術(輪郭加工編)	H22.12.6～10	(独)雇用・能力開発機構埼玉センター(埼玉県職業能力開発促進センター) ポリテクセンター埼玉	出口 貴久
農商工連携・地域資源支援事業の活用(2)	H22.12.6～10	中小企業大学校 東京校	原田 勝利
玉掛け技能講習	H22.12.9～10 H22.12.12	日本ビニル工業(株) (株)デンコー	蓮 俊介 原田 雅典
公設試験研究機関研究職員研修(座学)	H23.1.17～21	中小企業大学校 東京校	稲本 将史
公設試験研究機関研究職員研修(現場実習)	H23.1.24～28	中小企業大学校 東京校	本多 春樹 蓮 俊介
ISO17025(試験所・校正機関認定)内部監査員養成セミナー	H23.1.24～25	JFE 京浜ビル	唐牛 聖文
ANSYS Workbench Simulation 構造非線形セミナー	H23.2.3～4	サイバネットシステム(株)	増子 陽一
ノイズ対策セミナー	H23.2.9	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ	新里 浩司 関口 克巳
クレーン運転特別教育	H23.3.4～5	(株)安全衛生推進教育センター カジマメカトロエンジニアリング	蓮 俊介 原田 雅典

北部研究所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
PCR セミナー	H22.5.20	アプライドバイオシステムジャパン	富永 達矢
液体計測ソリューション	H22.7.9	TCI つくば研究支援センター	山口 葉子
活性化担当者研修	H22.8.19	全国町村議員会館	持田 紀久雄
ICP 発光分光分析装置 700-ES ユーザーズスクール	H22.9.15	ハリアン・テクノロジーズ・ジャパン・リミテッド	鈴木 理博
微生物試験セミナー	H22.10.20	全電通労働会館	細井 永次
ダイカストの欠陥制御のための基礎講座	H22.10.29	東京都立産業技術センター	箕輪 幸三
システムバイオロジーの新展開	H22.11.18～19	かながわサイエンスパーク	細井 永次
醤油中央技術セミナー	H22.11.19	醤油会館	海野 まりえ
検査・測定セミナー	H22.11.26	神奈川県産業技術センター	大木 健司
スガウエザリング学術講演会	H22.11.29	アルカディア市ヶ谷	堀口 将弘
クラウドコンピューティングセミナー	H22.12.8	東京国際フォーラム	岩崎 正太
分析技術セミナー	H22.12.10	品川グランドセントラルタワー	常見 崇史
主要な幾何公差の解釈とその測定技術の実践	H23.1.11～12	高度職業能力開発促進センター	大木 健司
公設試験研究機関職員研修(座学)	H23.1.17～21	中小企業大学校 東京校	堀口 将弘
民間企業派遣研修	H23.1.17～ H23.2.10	UDトラック(株)	岩崎 正太
酒造研修	H23.1.24～28	権田酒造	南澤 賢
無機分析基礎セミナー	H23.2.4	泉ガーデンコンファレンスセンター	鈴木 理博
CMMによる精密測定セミナー	H23.2.16	(独)産業技術総合研究所	大木 健司
食品分析セミナー	H23.2.22	日本薬学会 長井記念館	仲島 日出男 常見 崇史

職場研修

名称	期 日	会 場	参加人数
職員ための安全衛生教育 講師:桜沢 政春	H22.12.3	埼玉県産業技術総合センター 4ABC会議室	44
バイオマスプロセスに関する生態系機能の 社会実装を目指して 講師:守屋 繁春	H23.1.27	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 会議室	22
「不確かさ」研修会 講師:(独)産業技術総合研究所 田中秀幸	H23.3.4	埼玉県産業技術総合センター 4AB会議室	31
組織の活性化と効果的なコミュニケーション 講師:大泊 剛	H23.3.29	埼玉県産業技術総合センター 4ABC会議室	82

9.2 顧客満足度(CS) アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器等で来所した利用者としている。

アンケート期間は平成 22 年 10 月 1 日から 10 月 31 日の 1 か月間とした。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

- (1) 回答数 505 件
- (2) 対応した職員の助言や、支援の内容について
①満足 74.1% ②やや満足 17.8% ③普通 7.7% ④やや不満 0.4% ⑤不満 0.0% ⑥無記入 0.0%
- (3) 対応した職員の言葉遣いや、対応について
①満足 84.0% ②やや満足 10.9% ③普通 4.8% ④やや不満 0.2% ⑤不満 0.0% ⑥無記入 0.2%
- (4) 当センターを利用した今回の満足度
①満足 68.1% ②やや満足 23.0% ③普通 7.5% ④やや不満 0.4% ⑤不満 0.2% ⑥無記入 0.8%

9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催(内 1 回は資料送付)し、業務内容等を検討した。

9.3.1 開催状況

- (1) 第 1 回運営委員会
(ア) 日 時:平成 22 年 9 月 14 日(火)
(イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
(ウ) 議 題
① 平成22年度事業の推移について
② 産業技術総合センター第 2 期運営計画の進捗状況について
③ 産業技術総合センター第 3 期運営計画策定に向けた方向性について
④ その他
(エ) 参加人数
運営委員 10 人 埼玉県 25 人 計 35 人
- (2) 第2回運営委員会
(ア) 日 時:平成 23 年 3 月 23 日(水)
(イ) 場 所:資料送付
(ウ) 送付資料内容
① 平成 22 年度事業の推移について
② 平成 23 年度事業概要について
③ その他

9.3.2 運営委員

伊藤鉄工(株)
(独)産業技術総合研究所
芝浦工業大学
小原歯車工業(株)
島崎(株)
田中製麺(株)
東京電機大学
東京理科大学
(株)東立製作所
(独)理化学研究所
川口化学工業(株)

代表取締役
地域連携室長
教授
代表取締役
取締役相談役
代表取締役
教授
科学技術交流センター長
取締役社長
主任研究員
取締役社長

(敬称略, 順不同)

伊藤 光雄(副委員長)
清水 聖幸
菅 和利
小原 敏治
島崎 洋子
田中 孝
富田 英雄(委員長)
藤本 隆
松川 ヨシ子
緑川 克美
山田 吉隆